## 国語

国語	国語	2	東書	新編 新しい国語

項目	観点	説明
内容の扱い学習方法	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表	ア 「言葉の力」では、ポイントを図示しながら、身につける力が明確に示されている。 また、これまで巻末にあった「学びを支えることばの力」が、単元内の関連する教材 の前後に配置され効果的に活用できるようになっている。 イ QR コンテンツや関連する豊富な教材・資料により、一斉授業や個別の活動、家庭学 習で学習のきっかけをつくったり、学びを深めたりできるようになっている。
方法 (活動)	現力等」を育成するための工夫	ウ 見開き2ページによる「てびき」により、考えたり、深めたりする課題やふりかえりが示され、学習の仕方がわかりやすい。そのヒントに「たすけ」も示されている。 エ キャラクターを効果的に活用し、話し合い、会話などモデルを示すことで学習にお
	③「学びに向かう力、人 間性等」の涵養に向けた 工夫	ける対話を促す効果がある。 キ 脚注が充実している。類義語や対義語も掲載され、巻末の新出漢字一覧では、筆順、 用例などが詳しく示されている。
内容の構成配列への	④単元の内容・構成、系 統性の工夫、カリキュラ ム・マネジメントへの対 応	<ul> <li>ア 単元に配置された内容の関連性に無理がなく、分量も適切。鎖マークで他教科との関連が可能(書写・保健体育など)</li> <li>イ 「読むこと」で身につけた言葉の力を「話すこと・きくこと」「書くこと」の教材で生かすという系統的な学びにより、言葉の力を確かに身につけることができるようになっている。</li> </ul>
の配慮と工夫等	⑤配慮を要する児童生 徒、外国人児童生徒等日 本語指導が必要な児童生 徒、多様性への対応や配 慮	<ul> <li>ア イラストや写真が多用され、適切な配色、適度な余白により、視覚的に見やすくなっている。また、デジタル教材も各教材に用意され、取り組みやすい。</li> <li>イ 外国の作家による日本語を考える随筆、不登校生徒が登場する小説など、多様性に配慮した内容や表現が取り入れられている。</li> <li>ウ 見出し、小見出しに UD フォントが使用され見やすい。</li> </ul>
その他	⑥デジタル化、情報化等 への対応や配慮	<ul><li>ア デジタルコンテンツにより、以前の「学びの扉」が動画のアニメとなり、導入内容がより分かりやすくなった。</li><li>イ 文章と図表を関連付ける説明文、メディアリテラシーを身につける内容、思考ツールの活用など、情報活用能力を養う工夫がされている。</li></ul>
	⑦今日的な課題への対応 や配慮等	ア 新設「未来への扉」では、現代的な課題(情報社会、安全・防災、科学と探求、学校・社会、自己と他者、多様性、伝統と文化、地球環境、平和・国際理解)に対し、複数の文章や既知の学びを活用して、自分の考えをまとめる内容となっている。 イ 現代作家や、話題の作品なども盛り込まれ、関心を持たせる。ウクライナ情勢や広島の原爆に関する新教材など平和を考える教材も工夫されている。 ウ「読書案内」では文豪から現代作家、評論に至るまで様々なジャンルが紹介され、読書への意欲喚起につながる。

国語15三省堂現代の国語	
--------------	--

項目	観点	説明
内容の扱い 学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 「学びのみちしるべ」により、「目標」、「学びを深める学習課題」、「振り返り」が示されており、学習の流れがわかりやすい。また、「振り返り」ではキーワードが示されていて、わかりやすい。  イ「読み方を学ぼう」では、文章を正確に読み解き、深く味わうための視点が示され、確かな読解力を身につけることができる。また、説明文の導入の教材は、見開き1ページに読解のポイントが示され、基本定着に効果的である。  ウ「書く」での作文の種類ごとや「話す・聞く」での発表の仕方など、視覚的にわかりやすく具体例が豊富に示してある。  エ「語彙を豊かに」が各教材に配置され、教材の言葉に関連する語彙を学べたり、表現に活かせる言葉を学べたりして活用できる。  オ QRコードから学習のステップがわかるようになっている。ドリル学習も可能。
内容の構成 配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系 統性の工夫、カリキュラ ム・マネジメントへの対 応	<ul> <li>ア 単元の数は9つと少し多いが、単元内の教材は少なめである。一つの教材で多くのことを学べる構成になっている。</li> <li>イ「短歌10首」(P68) → 「表現の仕方を工夫して豊かに表す」(P74) のように、系統的な学びが行われ、読解によって得た力が書く活動で発揮され、言葉の力が定着する流れができている。</li> <li>ウ「互いの考えを尊重しながら、話し合いを深める」(P38) では、「生かそう」という項目で、国語科の他の単元とのつながりや、委員会活動や部活動など日常生活との関わりを示している。</li> </ul>
	⑤配慮を要する児童生 徒、外国人児童生徒等日 本語指導が必要な児童 生徒、多様性への対応や 配慮	ア 巻頭に「この教科書の使い方」が示されている。  イ「短歌十首」(2年 P68) のように、文章ページには文字しかなく、基本的にすっきりした印象を受ける。空欄に書きこみをしたり集中して文章を読んだりしたい生徒、あるいは集中力が続きにくいような生徒には、イラストや注釈が多くない方がむしろ注意散漫にならず、読みやすい。  ウ 各学年巻末に「学習用語辞典」が掲載され、国語の基本的な学習用語の意味や定義が学べるようになっている。
その他	⑥デジタル化、情報化等 への対応や配慮	ア 6章「情報を関連づける」では最初に漫画→関連文章→創作などの言語活動という 流れで学習が深まるように、充実した課題が掲載されている。
	⑦今日的な課題への対 応や配慮等	ア メディアリテラシーを身につける、情報の扱い方に関する教材が3年間を通して配置されている。また、「防災」や「百年後の水問題」や「ロコミサイト」、「電子マネー」など、今日的なテーマも掲載されている。 イ「歌の言葉」ではYOASOBI、official 髭男 dism、緑黄色社会など最近のアーティストが取り上げられ、関心がもてる工夫がみられる。

国語	国語	17	教出	中学国語
		11	秋山	一十二四

項目	観点	説明
内容の扱い 学習方法(活動)	①「知識及び技能」 を習得するための 工夫 ②「思考力、判断 力、表現力等」を 育成するための工 夫 ③「学びに向かう 力、人間性等」の 涵養に向けた工夫	ア「学びナビ」で文章の読み取り方や用語解説を示した後、本文を読むという流れで、既習事項を生かしながら知識の積み上げができるようになっている。 イ「みちしるべ」では、読後の交流の仕方の例示があり、学習の流れが明確にされている。 ウ「タオル (2年 P38)」の「振り返り」のように、教材毎に自己評価の視点が問いの形で示されており、振り返りがしやすい。 エ 各学年「学びのチャレンジ」があり1年間の総仕上げとして全国学力状況調査を意識した問題に取り組めるようになっている。 オ QRコードはやや少なめである。
内容の構成 配列への配慮し	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 単元構成に無理はなく、分量も適切だが、単元相互の関連性は弱い。特に、インプット(読むこと)からアウトプット(書くこと)へという流れは関連性が弱い。 イ 古典では、『枕草子』から2段、『徒然草』から2段、『おくのほそ道』からは旅立ちの句や辞世の句が取り上げられており、古典に親しめるようになっている。 ウ ショートショート、脚本づくり、絵コンテなど興味を持てる題材が配置されている。 オ「広がる本の世界」を単元ごとに配置し、主体的な学びにつなげることができる。
配慮と工夫等	⑤配慮を要する児 童生徒、外国人児 童生徒等日本語指 導が必要な児童生 徒、多様性への対 応や配慮	<ul> <li>ア 本文の文字は大きめで、写真も余白も多い。</li> <li>イ 谷真海さんの作品や SDGs で障害を考えたり、子どもの権利を扱ったりしている。関連図書の紹介では著者がゲイの方の作品もある。</li> <li>ウ 巻頭に「言葉の地図」があり、何を学ぶか、どう学ぶのかが具体的に示されている。</li> <li>エ「敦盛の最後」(2年P127) のように、古文の歴史的仮名遣い、現代語訳などが色を変えて記載され、イラストや写真なども豊富に紹介してあり、わかりやすい。</li> </ul>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や 配慮	ア 「情報」に関する単元が各学年に配置され、SNS,写真で事実を表現するなどメディア リテラシーを身につける題材がある。
	⑦今日的な課題へ の対応や配慮等	ア 各学年「SDGs」に関する単元がある。「学びリンク」動画もあり、SDGs について考える きっかけを作りやすい。 イ 巻末に「ふるさとを巡る(文学にゆかりのある風景)」があり、ふるさとキャリア教育に 活用できる。

国語 国語	Ŧ 90	光村	国語
	吾   38		

項目	観点	説明
内容の扱い学	①「知識及び技能」 を習得するための 工夫	ア 見開き2ページによる「学びへの扉」は横書きで見やすく、学習のながれがわかりやすく明示されている。また、「学びのカギ」が読解を助けるポイントが図示され、視覚的にも理解しやすい。 イ 語彙ブックや季節の言葉、言の葉ポケットなど、語彙を増やす工夫がされている。巻
い学習方法(活動)	②「思考力、判断 力、表現力等」を 育成するための工 夫	末の「語彙ブック」は、書いたり話したりするときに表現のヒントになり、言葉の力の 向上に役立つ。 ウ 教材毎に言語活動が明示されていて、「学習活動」として何をするか明確である。 エ「思考の地図」、「主体的な学びのために」、巻末「国語の力だめし」で主体的に学べるエ
	③「学びに向かう 力、人間性等」の 涵養に向けた工夫	夫がしてある。  オ QR コードにより、関連事項へのアクセスが可能。特に、話す聞く内容で、導入にモデルが示されている。
内容の構成 配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 単元に配置された内容の関連性についておおむね良いが、古典教材が分けて配置されている。  イ 巻頭「学習の見通しをもとう」ではどの力をつけるための学習なのか、他教科や SDGs の関連が整理されている。  ウ「つながる古典」では3年間で学んだ古典のつながりがまとめられている。巻末に古典の関連教材が配置されている。
	⑤配慮を要する児 童生徒、外国人児 童生徒等日本語指 導が必要な児童生 徒、多様性への対 応や配慮	ア 文字が小さく余白が少ない。  イ 2年生読書単元には、「自分らしさ」をテーマに、外国生まれの作家や障がいをテーマにした文章を取り入れている。「翻訳作品を読み比べよう」のようにグローバル社会の視点で、海外文学も多く取り入れられている。  ウ「学びのカギ」や「レッスン」の重要部分には最初からマーカーによるラインが引いてあるため、ポイントが一目でわかる。
その他	⑥デジタル化、情 報化等への対応や 配慮	ア インターネットなどでの情報の真偽にかかわる内容やメディアの意義を考える教材が 配置されている。 イ 各学年に「情報×SDGs」のコーナーがある。
	⑦今日的な課題へ の対応や配慮等	ア 現代作家の作品も盛り込まれ、関心を持たせる。読書単元では、メディアで扱われた中村哲さんが大きく取り扱われたり、人気作家のコラムなども掲載されたりしている。 イ 正解が1つに決まらない課題と向き合うために、複数の意見を読んで考える単元がある(3年P130)。 ウ 古典名作、文豪作品が巻末に掲載されている。

## 書写

国語	書写	番号 2	東京書籍	新しい書写一・二・三年
----	----	------	------	-------------

項目	観点	特徴
内容の扱い 学習方法 (活 動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 「とん、すう、ぴたっ」などの言葉で筆の運びが表現されている。(P10、11) イ 「書写テスト」があり、学習の定着度が確認できるようになっている。(P44、70、88) ウ 小学校で学んだことの振り返りがある。(P6~9) エ 筆の運びを意識させるために点線で筆脈が書かれている。(行書体) オ 毛筆教材には動画解説がついており、自分で確認できるようになっている。(P15、21、29 等)
内容の構成 配列への配慮 と工夫等	④単元の内容・構成、系 統性の工夫、カリキュラ ム・マネジメントへの対 応 ⑤配慮を要する児童生	<ul> <li>ア 基本単元は、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」で構成されている。</li> <li>イ 各学年に3か所程度活用単元「生活に広げよう」を設けている。(P22、36、39、60、65、83)</li> <li>ウ 各学年の最後に書写テストを設けている。</li> </ul> ア キャラクターを使って要点を伝えている。
	徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	イ 写真や絵を使いながら視覚的な提示がしてある。 ウ ユニバーサルデザインフォントが使われている。 エ 色覚特性に適応するようにデザインされている。
	⑥デジタル化、情報化等 への対応や配慮	ア QR コードあり、デジタルコンテンツへアクセスできるようになっている。
その他	⑦今日的な課題への対応 や配慮等	ア 全学年に「書き初めをしよう」を、設けている。

項目	観点	特徴
内容の扱い 学習方法 (活 動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 学習の初めに筆の運び方や、鉛筆の持ち方など基本的なことが書いてある。(P6~10) イ 毛筆教材には解説動画がついており、自分で確認できるようになっている。(P16、17、24、25・・・)ウ字形の整え方 P18~21 が設けてある。エ 毛筆と硬筆が交互にあり、毛筆で学習したことを硬筆にいかすことができる。オチャレンジ教材的に高校の内容があり、取り組みたい生徒は取り組めるようになっている。(P74、86)
内容の構成 配列への配慮 と工夫等	④単元の内容・構成、系 統性の工夫、カリキュラ ム・マネジメントへの対 応	【1年生】楷書・楷書と仮名・行書 【2年生】行書・行書と仮名・楷書と行書 【3年生】文字文化の豊かさ ア 「学習のはじめに」を設けて、姿勢や筆・鉛筆の持 ち方などを復習することができる。 イ 1年「文字の変遷」(P30、31)、3年「身のまわりの 文字」(P68、69)では、文字文化に触れることで、 手書き文字の魅力や意義を考えることができるよう になっている。
	⑤配慮を要する児童生 徒、外国人児童生徒等日 本語指導が必要な児童 生徒、多様性への対応や 配慮	<ul> <li>ア 写真や絵を使って視覚的に提示している。</li> <li>イ 動画を観られるように QR コードがついている。</li> <li>ウ 筆脈が点線で示してあり、筆や鉛筆の動きがわかりやすくなっている。</li> <li>エ カラーユニバーサルデザインに配慮して作られている。</li> <li>オ ルビがふってある。</li> </ul>
その他	⑥デジタル化、情報化等 への対応や配慮	<ul> <li>ア 教材に QR コードがつけてあり、解説が観られるようになっている。</li> <li>イ 二次元コード一覧表 (P104) があり、一目でどこに解説動画や、補充教材があるかわかりやすくなっている。</li> </ul>
	⑦今日的な課題への対応 や配慮等	ア 書き初め教材が各学年ごとにもうけてある。 (P105~116) イ 「書写の広場」として高校の内容がある。

国語書写	番号 17	教育出版	中学書写
------	-------	------	------

項目	観点	特徴
内容の扱い	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力	ア 「学習の進め方」で課題を解決していくための 話し合いポイントや相互評価の仕方を示して いる。(P10、P11) イ 「学びリンク」(二次元コード)で毛筆・硬筆教 せいまなおせい 医質なお 歌歌 でなる 一位服
学習方法 (活動)	等」を育成するための工夫	材や補充教材の運筆を動画で確認できる。学習 内容の記録やふり返りができるワークシートが ある。(P44、P46)
	③「学びに向かう力、人間性 等」の涵養に向けた工夫	ウ 行書の硬筆練習に出てくる筆順の難しい漢字に ついて漢字別に筆順が示されている。 (P84、P85 等)
内容の構成	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	<ul> <li>ア 3年間で学ぶことや身につける力を1本の木のイラストで表している。コラムで高校書道Iの例を紹介している、(P12、P79、P94)</li> <li>イ 各教材は「目標」「考えよう」「生かそう」「ふり返ろう」の4つで構成されている。         <ul> <li>(P44、P45等)</li> </ul> </li> </ul>
配列への配慮と工夫等	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	<ul> <li>ア 学習内容や活動などのポイントをキャラクターの言葉として噴き出しで示している。</li></ul>
その他	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア 「文字の変遷」「活字について知ろう」で書体や 活字の変遷等を写真や資料で紹介している。 (P36~P37、P54~P56) イ 「学校生活に生かして書く」「学習をいかして書 く」、ではレポートやポスター、新聞などを書く ときの留意点を具体的に示している。 (P32~P35、P90~P93)
	⑦今日的な課題への対応や配 慮等	ア 資料や見本に SDGs の目標に関わる内容や写真を取り入れている。(P56、P78) イ 筆や紙などの主な生産地や各地の城や城址の石柱の様々な写真が掲載されている。 (P24~P25、P102~P103)

国語 書写	写 番号 38	光村図書	書写中学一・二・三年
-------	---------	------	------------

項目	観点	特徴
内容の扱い 学習方法 (活 動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 用具の準備や片付け方が写真で示されている。 (P32、P33) イ 「トン」、「スー」、「トン」の言葉で始筆、送筆、終筆のリズムを表したり「ぴょん」、「ぴたっ」などの言葉で行書の筆使いを表したりしている。 (P41、P55等) ウ 毛筆教材に動画解説がついており自分で筆使いを確認できる。また、他の文字の動画もあり学習内容の確認ができる。(P43、P44等)
	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア 各教材は「考えよう」「確かめよう」のあと、学習したことを硬筆で書く「生かそう」で構成されている。(P54、P55等) イ 小学校の学習内容がキーワードと図を使ってまとめられている。教科書の最後に高校での学習内容が紹介してある。(P36、P165)
内容の構成 配列への配慮 と工夫等	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	ア 「姿勢・筆記具の持ち方」、「用具の準備・片付け」について右手で書く人と左手で書く人の両方の二次元コードがあり自分で選択して確認することができる。(P30~P33) イ 行書の特徴を「点画の連続」「筆順の変化」など4つのスイッチのイラストを使って示している。(P52、P53等) ウ 練習用の例文や作品例に出てくる語句の読み方が示されている。(P63、P64等)
その他	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	<ul> <li>ア タブレットを使うときの姿勢やタブレットの</li> <li>活用例を写真や二次元コードで確認できる。</li> <li>(P31、P34、P35)</li> <li>イ メールの通信文、プレゼンテーションのスライド等、様々な情報の伝え方を紹介している。</li> <li>(P116、P117)</li> </ul>
	⑦今日的な課題への対応や配 慮等	ア 「SDGs×書写」で具体的な SDGs につながる 取り組みを紹介している。(P33、P141等) イ 「防災フェスタを開こう」で手書きポスターや 案内版などを紹介し書写の学習を生活に生か す例を示している。(P98、P99)

## 社会

項目	観点	特徴
内容の扱い学習方法(	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア単元活動の最後に「確かめよう」で地図などを使って学習内容を整理し 基礎基本の定着を図ることができる。P74,88 イ写真・雨温図・統計地図・グラフなどの資料の読み取りや地域調査や分析の手法についての基礎的な技能を身につけることができる「スキル・アップ」のコーナーが設けられている。P17,32 ウ本文中の難しい用語を解説する「もっと解説」が随所に配置され、単元のまとめには用語の確認をする「ワードチェック」が設けられるなど理解を深める工夫が見られる。P45,54
(活動)	②「思考力、判断力、表 現力等」を育成するため の工夫	ア「チェック&トライ」で1単位時間の学習内容をまとめることで思考力・ 判断力・表現力の育成につなげている。 イ「みんなでチャレンジ」コーナーがあり、対話的な活動を実践できる工 夫がされている。P23 ウ「ベン図」「ウェビング」などの思考ツールが掲載されており、学習内容 について考察し、思考を深める工夫がされいる。P33,127
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア導入ではコラム「聞かせて!中学生」で地域による違いや生活の工夫などへの関心を高める工夫がされている。P78,184 イ探究的に学習に取り組めるよう「世界の窓」「○○の視点で見てみよう」が設けられている。P61,187
内容の構成配列への配慮と工	④単元の内容・構成、系 統性の工夫、カリキュラ ム・マネジメントへの対 応	ア学習に興味・関心を持たせる見開きの「導入資料」、「学習課題」を解決しながら「問いの追求」から探求課題を解決するまとめと単元を構造化している。P34,35 P36~53 P54,55 イ小学校で学習した内容を振り返るページが設けられており、小中の接続が意識されている。P58 ウ他教科でも扱う学習内容には、教科関連を示すリンクマークが付されている。P25,80
工夫等	⑤配慮を要する児童生徒、 外国人児童生徒等日本語 指導が必要な児童生徒、多 様性への対応や配慮	アグラフや地図などは、凡例を使用せず図中に示すなど情報を簡潔に伝えるように工夫されている。 イムスリムの暮らしを丁寧に取り上げた「もっと知りたい」でイスラム地域による多様性などに触れている。p52,53
その他	⑥デジタル化、情報化等 への対応や配慮	ア紙面に付した二次元コードを読み取り、学習内容を深める動画やつまずきを補うシミュレーション、活動のためのワークシートなどのコンテンツを活用できる。P60,62 イICTの進展による社会の変化や課題解決の取り組みの事例を本文や「未来にアクセス」などで取り上げている。P71,103
	⑦今日的な課題への対応 や配慮等	ア教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の $5$ つのテーマで貫き、現代的な課題を意識して学習を進められる。巻頭 $3-P1,141$

社会科	地理	1 7	教出	中学社会 地理 地域に学ぶ
	•			<u> </u>

項目	観点	特徴
内容の扱い学習方	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア「地理の技」のコーナーでは、個人やグループ活動での活動を通じて、地理の学習に身に付けたい技能や表現力が養える。P10,23,27 イ「確認」のコーナーが設けられ、学習事項の確実な定着が図られるように構成されている。P7,15 ウ「学習のまとめと表現」が設けられており、学習内容が身についているか確認でき、学習の振り返りを3STEPに沿って整理し深めることができる。P60,124
万法(活動)	②「思考力、判断力、表 現力等」を育成するため の工夫	ア末尾に特設ページの学習を通して節全体の学習をとらえなおすような問い「TRY!」で学習内容を深めることができる。P127,230,231 イ資料を読み取って考察する「THINK!」のコーナーが設けられ、思考・判断・表現を育成することにつなげている。P87,118 ウ「確認」の学びをもとに「表現」のコーナーで学習したことを自分の言葉で表現し、深い学びへつなげる工夫がされている。P33,111
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア随所に「地理の窓」というコーナーが設けられ、興味・関心を喚起する学習コラムで学びを深め、視点を変える、視野を広げるなど多面的・多角的な見方を身につけることができる。P41,237 イ「学習のまとめと表現」で、学習で身につけた用語を振り返る「ワードチェック」を設けるとともに、学習を整理するための思考ツールが示されている。P89,199
内容の構成配列へ	④単元の内容・構成、系 統性の工夫、カリキュラ ム・マネジメントへの対 応	ア見開き右ページ下に、「関連マーク」で歴史的分野や公民的分野との連携を図る工夫がされている。 イ「地理にアプローチ」には、小学校で学習した地図のきまりや地図帳の使い方、グラフの種類などを振り返る活動を位置づけているほか、ワークシートのように直接書き込む作業活動も取り入れるなどの工夫が図られ、発達段階に応じて無理なく学習することができる内容である。 P2~4
の配慮と工夫等	⑤配慮を要する児童生 徒、外国人児童生徒等日 本語指導が必要な児童 生徒、多様性への対応や 配慮	アイラスト・地図・グラフ・図解などの資料が豊富に掲載され、出典と併せて視覚的にとらえやすく配置されている。P128-129 イ小学校5,6年の配当漢字にもフリガナがついており、平易な記述となっている。 ウ先住民の生活やアフリカの歴史などの学習から世界のさまざまな民族・文化と社会のかかわりを通して、多様な価値観や文化に対する理解や寛容を育むことができる。P120~122、78,79
その他	⑥デジタル化、情報化等 への対応や配慮	アQRコードから動画や学習コンテンツにアクセスでき、授業外での復習や 自主学習など個別最適な学びを支援できる。 イ発表方法としてICT機器の多様な活用例を学習内容に応じて写真やイラス ト、動画などで紹介している。P285
	⑦今日的な課題への対 応や配慮等	アウクライナ問題、新型コロナなど世界的な時事的な課題も取り上げられている。P75,183 イ各地の地域おこしの事例を通して、地域社会が抱える課題を考えることができる。P250~253、200、201 ウ地域の歴史や現状、抱える課題などについて実地に調査し、理解を深める学習活動が重視されている。「六次産業化」「持続可能な地域づくり」など、地域を活性化するための人々のより具体的な工夫や努力について考察を深めるように構成されている。P250-253

社会科	地理	4 6	帝国	社会科	中学生の地理	世界の姿と日本の国土
-----	----	-----	----	-----	--------	------------

項目	観点	特徴
内容の扱い学	①「知識及び技能」を習 得するための工夫	ア臨場感あふれる写真を通して日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、主体的に各地の地域的特色を捉えられる本文やコラムがバランスよく盛り込まれている。P49-52 イ「技能をみがく」では見方・考え方を働かせるうえで重要な基礎的な技能が習得できる。P12,17
.学習方法(活動)	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア「アクティブ地理」で課題解決型学習を通して、意見交換や発表をする対話的な学習を多く設定している。P90,91,150,151 などイ「学習を振り返ろう」で単元を貫く問いに対して思考・判断・表現する課題が設けられている。さらに、(巻頭9に説明)思考ツールを用いて自分の考えを整理・構造化できるようになっている。ウ「地図帳活用」コーナーを設置し、地図帳との連携を図り、位置や分布、他地域との結びつきなどを地図上でとらえ、学習を深めることができる。P3,16
	③「学びに向かう力、人 間性等」の涵養に向けた 工夫	ア各節の導入「写真を眺める」では、写真や地図の読み取りを通して地域への興味・関心を高める工夫がされている。P46,47 イ「学習を振り返ろう」では、学習した知識をもとに深い学びにつなげられるよう工夫されている。P13,25
内容の構成配列へ	④単元の内容・構成、系 統性の工夫、カリキュラ ム・マネジメントへの対 応	ア「導入」「学習課題」「本文」「確認しよう・説明しよう」という展開で統一、構造化されており、基礎的・基本的な知識や技能が理解しやすい工夫がされている。 イ本文脚注欄に「小学校・歴史・公民・他教科との関連」コーナーが設けられており、接続ができるよう関連用語が提示されている。P30,102
の配慮と工夫等	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	ア色数の多いグラフや地図には、模様や線種、記号などが使用され、色以外での区別ができるように配慮されている。 イ図版が色で囲まれ、どこまでが同一の図版か読み取りやすいように配慮されている。
その他	⑥デジタル化、情報化等 への対応や配慮	ア緯度・経度や時差など、図版だけでは理解しづらい概念を説明する際は、 QRコンテンツにアニメーションを収録して、理解を促すように配慮されている。 イ本文側注、QRコンテンツの中に用語解説が用意されている。 ウ学習内容に関連する動画や「学習を振り返ろう」の解答などが閲覧でき、 生徒が自学自習しやすいように工夫されている。巻頭6など全85か所、 P45-48
	⑦今日的な課題への対応 や配慮等	ア「アクティブ地理自然災害から命を守ろう」では、ハザードマップの使い方や災害時の避難方法などを実践的に学習できる。P151 イ「未来に向けて 人権・多文化」、「未来に向けて 平和・安全」が設置され、多様な価値観や文化の共生を図る人々の姿が紹介されている。P55,61 ウ「未来に向けて 環境・エネルギー」が設置され、環境保全に取り組んでいる人々の姿が紹介されている。P73,75

社会科 地理 116 日文 中学社会 地理的分野						
	<b>分野</b>	中学社会 地理的分野	日文	1 1 6	地理	社会科

項目	観点	特徴
内容の扱い学習方法	①「知識及び技能」を習 得するための工夫	ア見方・考え方のコーナーを設け、学習課題の解決に向けての手掛かりとなる地理的な見方・考え方の例を示している。 P16 イ何を学ぶのかを「学習課題」で示し、「確認コーナー」「表現コーナー」では基礎的な知識・技能の定着をねらいとした学習活動や問いが提示されている。
百方法(活動)	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア「トライ・スキルUP・資料活用コーナー」なども含めて、思考力・判断力・表現力の向上を図る場面が設定され、自分の言葉で表現できる構成となっている。P11,13,33 イ「まとめと振り返り」では、習得した知識を活用して、生徒が単元を貫く問いについて自分の考えをまとめる際に、様々なまとめ方や思考ツールが提示されている。P76,77 ウ「議論してみよう」で地理的な諸課題について考察・構想したことを論理的に説明したり立場や根拠を明確にして議論したりするなど、言語活動に関わる学習ができるようにしている。P61,89
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア対話的な活動など協働的な学びに関連した箇所を「学び合い」の アイコンで示している。P43,77 イ「学習のはじめに」「節の問いを立てよう」で単元を貫く問いを 立て、学習の見通しを持つことができる。また、トライやキャラ クターの吹き出しで自ら問いを立てる活動を支援し、取り組みや すい工夫がされている。P2,3,51
内容の構成配列	④単元の内容・構成、系 統性の工夫、カリキュラ ム・マネジメントへの対 応	ア「学習のはじめに」「連携コーナー」において小学校で学習した 内容を再確認することができる。P3,27 イ本文脚注「連携コーナー」などで、歴史的分野や公民的分野に関 連する事項を確認、活用できる。P80,86
への配慮と工夫等	⑤配慮を要する児童生 徒、外国人児童生徒等日 本語指導が必要な児童生 徒、多様性への対応や配 慮	ア特別支援教育・カラーユニバーサルデザインの専門家の検閲を受け、すべての生徒が等しく情報を読み取ることができるように配慮がいきわたっている。 イ「地理+α」のコーナーでは、性的少数者や多文化共生社会、アイヌの人々の文化などが紹介されており、多文化共生の重要性を再認識できる。P125, 278
その他	⑥デジタル化、情報化等 への対応や配慮	ア紙面に二次元コードが掲載され、動画や資料、ワークシート等の デジタルコンテンツにアクセスできる。(タブレットマーク配置) 小テスト、イントロダクションムービー、ポートフォリオが設定 されている。
	⑦今日的な課題への対応 や配慮等	ア巻頭で SDG s を取り上げるとともに、カーボンニュートラルなどの概念について解説している。 イ災害や防災・減災(自助・共助・公助)について体系的に学習することができる。P150,152,155,246~265 ウ随所に「持続可能な地域をめざして」のコーナーが配置されており、世界や日本の今日的な課題について考えることができる。P66,164

教科 社会	種目 歴史	番号 2	略称 東書	書名 新編 新	新しい社会 歴史
-------	-------	------	-------	---------	----------

項目	観点	特徴
内容の扱い 学習方法 (活 動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 歴史の学習を始める前に歴史の見方・考え方をとらえるために、「みんなでチャレンジ」の活動を通して、それぞれの概念をつかみ、その後の学習につなげることができる。(p.10~15) イ 単元の導入で、活動を通して、生徒が主体的に学べるよう、小集団の協同的な活動のコーナー「みんなでチャレンジ」が設けられている。深い学びにつなげるため、個人活動とグループ活動が明示されている。(p.98・99) ウ 探究課題を解決した後に、年表と資料で再度時代を振り返り、次の章の学習へつなげてある。(p.142・143)
内容の構成 配列への配慮 と工夫等	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア 単元のまとまりを意識して深い学びにつなげることができるよう、単元を貫く探究課題が設定されている。1時間ごとの学習課題と探究課題をつなぐ踊り場の問い(探究ステップ)が設けてあり、段階を踏んで探究課題を解決できる構成になっている。 イ 関連する他教科の学習内容をQRコードからアクセスできる。(p.16・29・51・211・217・231・268)
	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	<ul><li>ア カラーユニバーサルデザインに全面対応している。</li><li>イ すべての文字がユニバーサルデザインフォントとなっており、字形が判別しやすい。</li><li>ウ 不要な陰影や立体感のあるデザインがなく、シンプルなデザインになっている。</li></ul>
その他	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア 導入ページでは、小学校のレディネスを確認しながら、時代全体を見通すことができる。(p.144·145) イ 本文ページでは、教科書に掲載の資料を端末上で拡大して見ることができる。(p.170·171) ウ まとめページでは、活動内容に沿ったワークシートが利用できる。そして、用語の確認や思考の整理に役立つコンテンツが利用できる。(p.198~201)

⑦今日的な課題への対応や配	ア 現代的な諸課題の解決に主体的に取り組む態度
慮等	を育成するための「環境・エネルギー」「防災・安
	全」「人権・平和」「伝統・文化」「情報・技術」の

テーマが取り上げられている。

教科名 社会  種目名 歴史  番号 17  略称 教出  書名 中学社会 歴史 未来を∂	教科名 社会
---	--------

項目	観点	特徴
内容の扱い 学習方法 (活 動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 1単位時間ごとの学習課題に対応した「確認」「表現」の2段階の問いで、本時の学習を振り返り、基礎・基本の定着が図られる。(P22,P23等) イ 各章はじめの「時代の変化に注目!」では、資料の読み取りを通して、時代を大まかに比較し、変化の理由を考えさせることで、「見方・考え方」を働かせることができるよう工夫されている。(P20,P21等)ウ 各章導入ページ「学習のはじめに」では、資料の読
	性等」の涵養に向けた工夫	み解き活動を通して、興味・関心を高めながら、「章の問い」や章の学習への見通しにつながるよう工夫されている。(P20,P21等)
	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア「章の問い」や「学習のまとめと表現」が設定されて おり、生徒が見通しを持って学習活動を行うことが できるよう単元の配列を工夫している。 (P21,P56,P57等)
内容の構成 配列への配慮 と工夫等	⑤配慮を要する児童生徒、 外国人児童生徒等日本語 指導が必要な児童生徒、多 様性への対応や配慮	ア 本文や注など、教科書中の文章には、ユニバーサルデザインフォントが使用されている。 イ 図やグラフなどには、色覚の個人差を問わず、多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインを取り入れている。 ウ 中国や韓国などの東南アジア地域と日本との歴史的交流や、残された課題について詳しく取り上げ、これからどのような関係を築き、その解決を目指していくべきか考察を深められるように留意されている。(P266,267等)
その他	⑥デジタル化、情報化等へ の対応や配慮	ア 各章のとびらページではリンク集に、「学習のまとめと表現」では振り返りクイズに、アクセスできるよう二次元コードが付されている。(P19,P56等)イ すべての「歴史の技」に、解説動画がついており、二次元コードからアクセスできるようになっている。(P13,P25,P41等)
	⑦今日的な課題への対応や 配慮等	ア 北方領土問題の歴史的経緯や、竹島や尖閣諸島の領有をめぐる昨今の動きについて、詳しく記載されている。(P174,P175,P251等) イ 「関東大震災」の事例を通して、復興に対する人々

の想いや工夫・努力について理解が深まるよう配慮 されている。(P223,235 等) ウ 「歴史学習の終わりに」では、それまでの学習をふ まえて、現代の課題を考察し、未来を構想する学習 の中で、SDGs の観点から考えることもできるよう 構成されている。(P287-291)
--

教科 社会	種目 歴史	番号 46	略称 帝国	書名 社会科 中学生の歴史	日本の歩
				みと世界の動き	

項目	観点	特徴
内容の扱い 学習方法 (活 動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 「技能をみがく」コーナーが14か所設けられ、 「歴史的な見方・考え方」を働かせる上で必要な 基礎的な技能を習得できる工夫がなされている。 (p.7・8・10・35・39等) イ 正解のない課題解決学習を通して、意見交換を する対話的な学習が設定されている。(p.34~35、
	③「学びに向かう力、人間性等」 の涵養に向けた工夫	76~77、156~157、204~205、248~249) ウ 各章の冒頭で「『学習する時代の見通し』をもと う」が、章末で「『学習する時代の見通し』に戻っ てみよう」が設定され、章のはじめに立てた予想 から学習した時代に対する考えの深まりを振り返 ることができるよう工夫されている。(p.15・62・ 63等)
内容の構成 配列への配慮 と工夫等	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア 単元を貫く「章の問い」「節の問い」「学習課題」、 章末の「学習を振り返ろう」と問いが構造化され ており、章や節の学びを通して自分にどのような 力が付いたかを客観的に認識できるよう工夫され ている。(p.15·16·60·61等) イ 写真や地図に(小)・(地)・(公)の記載があり、 小学校や各分野との関連が意識できるよう工夫さ れている。(p.17·22·24·61等)
	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	ア 図版が色で囲まれ、どこまでが同一の図版か読み取りやすくなるよう記載されている。(p.38·39·54等) イ コラム「未来に向けて」において、人権や多文化に関する諸問題について理解を深めることができるよう配慮されている。(p.93·201·241等)
その他	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア 動画や博物館図書館等のホームページの「リンク集」「用語解説」「ワークシート」など、個別最適な学びが支援できるようなデジタルコンテンツが設定されている。(巻頭6、p.15·310等)
	⑦今日的な課題への対応や配 慮等	ア コラム「未来に向けて」では、持続可能な開発 目標 (SDGs) と歴史の関係を意識できるよう工夫 されている。(p.39・49・139等)

	イ 社会の新たな潮流について人や物、情報の移動や交流が活発になった一方、反グローバル化の動きが出ていることや国際情勢にも触れられており、今後の課題について考えられるよう記述されている。(p.302·303等)
--	--

項目	観点	特徴
内容の扱い 学習方法 (活 動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 各単元が、「学習課題」「本文」「ステップアップによる振り返り」という流れで統一され、知識・技能を身につける構造になっている。 イ 難しい用語には「用語解説」を設けて生徒の理解を助ける工夫がしてある。 ウ 各所に設けた発問を自ら考え、判断する力を身につける工夫がしてある。
	③「学びに向かう力、人間性等」 の涵養に向けた工夫	
内容の構成 配列への配慮 と工夫等	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア 各章の冒頭に各時代の帯年表が入れられており、その時代の日本と世界の大きな流れを理解できるように工夫されている。(p.14・15・62・63・102・103等) イ 各章冒頭に日本と世界のできごとが上下に分けて示されていたり、各時代の世界の様子を地図やイラストで示されたりしているなど、日本と世界の歴史の関連について理解しやすくなるよう工夫されている。(p.14・15・26・27・80・81等)
	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	<ul><li>ア カラーユニバーサルデザインを配慮して作成された資料が使用されている。</li><li>イ 本文は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li><li>ウ 難しい漢字、固有名詞、歴史用語にはふりがなが付されている。</li></ul>
	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア QRコードを設けて、ウェブページ・画像・動 画・音声などを見たり、聞いたりできる。
その他	⑦今日的な課題への対応や配 慮等	ア 「地域からアプローチ」では、地域の歴史や伝統文化などに焦点が当てられ、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう工夫されている。(p.46・47・58・59・68・69等) イ 持続可能な開発目標(SDGs)に関連する、現代の世界が抱えている課題や、それらに対する解決策を考えさせることができるよう工夫されている。(p.283)

項目	観点	特徴
	①「知識及び技能」を習得す るための工夫	ア 第1編では、「歴史的な見方・考え方」とは何か を、その活用の仕方とともに解説してある。 (p.10・11) イ 第2編以降の通史学習では、導入ページ、本文
内容の扱い 学習方法 (活 動)	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」	ページ、まとめ・振り返りページのそれぞれで働かせる主な「歴史的な見方・考え方」の例を示している。(p.156・196・213) ウ 単元を振り返る活動が設定されており、自らの
	の涵養に向けた工夫	学びを自己調整したり、変容を見取ったりすることができる。(p.212·213) エ 「チャレンジ歴史」では、生徒が興味・関心をもって主体的に取り組むことができる課題が設定してあり、学習に入りやすくなるよう工夫されている。(p.38·39)
内容の構成 配列への配慮 と工夫等	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア 各時代の学習では、導入のページで単元を貫く 問いを立てたり、学習を見通したりすることがで きるよう工夫されている。 イ 本文ページでの学習を終えた後、単元を貫く問 いに答える活動や時代の特色を捉える学習活動が 設定されていて、歴史の大きな流れが理解できる よう工夫されている。 ウ 他教科と関連ある教材が掲載されている。 (p.183~245)
	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	ア 教科書本文には、読み間違えにくいようユニバーサルデザインフォントが使用されている。 イ カラーユニバーサルデザインとなっており、情報を読み取りやすくなっている。
その他	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	<ul><li>ア 「ポートフォリオ」「イントロダクションムービー」「確認小テスト」の三つのQRコンテンツが設定されており、生徒が自学自習しやすくなっている。</li></ul>
	⑦今日的な課題への対応や配 慮等	ア 「基本的人権」「平和・命の尊さ」「近隣諸国と の関係」「環境・資源・エネルギー」「防災・減災」 「伝統・文化」といった、持続可能な社会の実現

1	
	にかかわる現代的な課題が取り上げられ、解決に
	向けて多角的・多面的に考えることができるよう
	工夫されている。

教科書名 社会 種目名 歴史	番号 225 略称 自由社	書名 新しい歴史教科書
----------------	---------------	-------------

項目	観点	特徴
内容の扱い 学習方法 (活 動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 時代ごとの長さや位置関係がわかるように、見開きページの左下に「歴史モノサシ」を提示し、モノサシの下に赤色でその単元で扱うおおまかな時期を捉えられるよう工夫されている。(P20,P22等)イ 各章のまとめ「時代の特徴を考えるページ」では、「歴史用語ミニ辞典の作成」「時代の流れを整理する問題」「時代比較の問題」「『ひとこと』作文」などの課題解決に取り組むことで、学びを構造化する力を養うことができるよう工夫されている。(P67,P103,P147など)ウ章をまたいで設けられた〈まとめ図〉と〈予告編〉では、学習の見通しをもつことができるとともに、各時代を代表する人物が紹介されており、小学校
内容の構成配列への配慮	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	の学習と関連づけて意欲的に学ぶことができるよう工夫されている。(P68,P69,P104,P105 など)  ア「岩宿遺跡を発見した相沢忠洋」「国譲り神話と古代人」など学習内容に合わせて「もっと知りたいコラム」が設けられており、おおまかな時代の流れに加えて、歴史を深く捉えられるよう工夫されている。(P24,P40,P52,P64 など)  イ 序章では、年代の表し方や時代区分、歴史の調べ方などを学ぶことができ、歴史的分野の学習を見通すことができるよう工夫されている。(P7-15)
と工夫等	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	ア 各ページには、図や写真、グラフなどが大きく掲載されており、見やすくなるよう配慮されている。 (P21,P22 など) イ 各ページに適宜登場する男女のキャラクターによる学習のポイントの説明や問いかけにより、学習の要点を押さえやすいよう工夫されている。 (P19,P26,P28 など)
その他	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア 章末の「調べ学習のページ」では、インターネットを使った調べ学習の具体例が示されており、情報技術の活用の仕方について考えられるよう工夫されている。(P100)

⑦今日的な課題への対応や配	ア 学習内容に合わせて設けられた「人物クローズア
慮等	ップコラム」では、日本の発展を支えた人物の功
	績などが紹介されており、日本人としての誇りや
	愛国心を育むことができるよう工夫されている。
	(P141,P186など)

教科名 社会	種目名 歴史	番号 227	略称 育鵬社	書名 新しい日本の歴史
--------	--------	--------	--------	-------------

項目	観点	特徴		
	①「知識及び技能」を習得す るための工夫	ア 時代ごとの長さや位置関係がわかるように、見開きページの左下に「歴史モノサシ」を提示し、その単元で扱うおおまかな時期を捉えられるよう工夫されている。(P,26,P28,P30等)		
内容の扱い 学習方法 (活 動)	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	イ 各章末の「学習のまとめ」では、その時代で最も 重要だと思う人物を1人選び、その理由を答える 課題が設定されており、歴史的な見方・考え方を 養うための工夫がされている。(P62,94,144 等)		
<i>動)</i>	③「学びに向かう力、人間性等」 の涵養に向けた工夫	ウ 各章はじめの「歴史絵巻」では、その時代の大まかな流れを確かめるとともに、小学校での学習内容と関連付けながら、意欲的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 (P24-25,P64-64,P96-97等)		
内容の構成 配列への配慮 と工夫等	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア「歴史ズームイン」には、「見方・考え方」「TRY!」 の課題がそれぞれ設定されており、各章での学習 内容をさらに深めることができるよう工夫されて いる。(P32-33,P44-45等)		
	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	ア 地図やグラフなどの資料には、色覚特性のある生徒でも識別しやすい色が使われており、地図においては地紋を入れるなど、色以外の情報からも読み取ることができるよう工夫されている。(P39,P41,P103等)		
その他	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア 各章はじめの「歴史絵巻」のページに添付された 二次元コードを読み取ることで、動画や学習内容 に関連する遺跡、研究所のホームページなどのデ ジタルコンテンツを活用できるよう工夫されてい る。(P25,P65,P97等) イ 歴史の調べ学習におけるインターネットを活用 した調査について、公的機関など信頼のおけるウ ェブサイトなどを参考にすることなどの留意点が 示されている。(P19)		
	⑦今日的な課題への対応や配 慮等	ア「歴史ズームイン」では、「震災の日本史」や「感 染症の歴史」などのコラムを通して、自然災害や 感染症など各時代で直面した大きな課題を乗り越 えた先人の知恵や努力を紹介しており、今日的な		

	課題に向き合おうとする態度を育成することがで
	きるよう工夫されている。(P274-275,P276-277 な
	ど)

教科	社会	種目	歴史	番号	229	略称 学び舎	書名	ともに学ぶ人間の歴史
----	----	----	----	----	-----	--------	----	------------

項目	観点	特徴
	①「知識及び技能」を習得す るための工夫	ア 各章末に「第○章をふりかえる」が設定されていて、基礎的な知識の定着を図ることができる。 (p.34·52·104·105等) イ 章末に「学習のまとめ」が設定されていて、歴
内容の扱い 学習方法 (活 動)	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	史的事象を関連付けたり意見交換をしたりすることによって、思考力、判断力、表現力を育むことができる。(p.52·53·84·85·134·135等) ウ 各章の冒頭のページの世界地図に、これから学
動)	③「学びに向かう力、人間性等」 の涵養に向けた工夫	習する時代の出来事が図や写真で表してあり、課題意識が持てるよう工夫されている。(p.10·11·36·37·54·55等) エ 本文中の文字に太字がなく、生徒が主体的に大切な語句を見つけられるよう工夫されている。
内容の構成 配列への配慮 と工夫等	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア 教科書の大きさはA4判で、図、写真、グラフなどの資料が大きく掲載されている。 イ 巻末ページに分野ごとの年表が掲載されており、知識の整理ができるように工夫されている。 (p.282~293)
	国人児童生徒等日本語指導	ア カラーユニバーサルデザインに配慮し、色、線などが見やすくなるよう工夫されている。 イ 女性の働き、社会運動などが取り上げられ、だれもが個人として尊重し合える社会について考えを深められるよう配慮されている。(p.149·170·171·248等)
	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア 「歴史を体験する」では、インターネットを利 用した調べ方について取り上げられている。 (p.104·105)
その他	⑦今日的な課題への対応や配 慮等	ア 文化遺産や作者の名前にとどまらず、文化を生み出した人々の願いと社会の状況、文化を継承した人々の営みなどが具体的に記述され、我が国と郷土を愛する態度を養えるよう工夫されている。(p.50・51・64・65・190・191等) イ 第10章「現代の日本と世界」では、公民的分野の学習を視野に入れた現代的な課題と結びつく

	テーマが掲げられ、よりよい社会の実現に向けて
	考えることができるよう工夫されている。(p.246
	~281)

教科 社会	種目 歴史	番号 236	略称 令書	書名 国史教科書	第7版
-------	-------	--------	-------	----------	-----

項目	観点	特徴
	①「知識及び技能」を習得す るための工夫	ア 「序 国史を学ぶにあたって」の「年代や時代 の表し方」「グループで歴史を調べよう」で、学習 を進める際に必要な技能を学ぶことができるよう に配慮されている。(p.11~15)
	②「思考力、判断力、表現力 等」を育成するための工夫	イ 「序 国史を学ぶにあたって」の「歴史的な見 方・考え方」で、歴史的な見方・考え方」を働か せる上で基本となる活動の方法を示している。 (p.15·16)
内容の扱い 学習方法 (活 動)	③「学びに向かう力、人間性等」 の涵養に向けた工夫	ウ 思考力の育成を図るためにヒントを設け、学習 課題ごとに「考えよう」が設定されている。(p.21・ 28・31 等)
IJ)		エ 各章の各項(「イ」「ロ」「ハ」等)ごとに「課題」が設定されており、見通しを持って学習に取り組むことができるよう工夫されている。(p.19・21・23等) オ 各章末に、「まとめ学習」が設定されており、章を通して学んだことを振り返ることができるよう工夫されている。(p.115~118・179~182・263~268等)
内容の構成 配列への配慮	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア 各章の各項 (「イ」「ロ」「ハ」等) が「課題」「本 文」「考えよう」の流れで統一されている。 (P19,P21,P23等) イ 各章末の「まとめ学習」では、年表を使って整理 する課題が設定されており、知識の整理ができる よう工夫されている。
と工夫等	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	ア 巻末資料として、本文に関連する地図や図、写真 などが大きく掲載されており、情報を捉えやすく なるよう工夫されている。(巻末資料等)
その他	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア「歴史小説・歴史漫画を読むときの注意」では、 史実とフィクションを見極めることの大切さについて触れられている。(P460-461) イ 二次元コードを読み取ることで「承久の乱(変)」 についての漫画を通して、わかりやすく理解できるよう工夫されている。(P461)

⑦今日的な課題への対応や配 慮等 ア 世界平和の実現に取り組んだ先人に関する資料 を掲載し、我が国と協同を愛する態度を養うこと ができるよう工夫されている。

(P368-369,P397-399,P425 等)

イ 日本の神話や天皇に関わる資料が豊富に掲載されており、我が国の伝統や文化に対する誇りや愛着を含めることができるように工夫されている。(P38-39,P51,P63等)

教科 社会	種目 公民	番号 2	略称 東書	書名 新しい社会 公民
-------	-------	------	-------	-------------

項目	観点	特徴		
内容の扱い 学習方法 (活 動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力	<ul><li>ア 章を貫く問いがあり、各節各単元で問いの構化がなされていて、見通し・振り返りがしやす構成になっている。</li><li>イ 章 (大単元)を貫く問いに関してその問いをえる意義づけがある。</li></ul>		
	等」を育成するための工夫	ウ 学習課題の確認と振り返りが「チェック」と「トライ」でできるようになっている。 エ 節のまとめには、各種ツールの利用が仕組まれ		
	③「学びに向かう力、人間性等」 の涵養に向けた工夫	ているが、そのツールの使用が適切か疑問である。 また、章のまとめの構成は丁寧であるが量的に多いと感じる。 オ 本文と比較すると資料に使ってある文字のフォ		
		ントがかなり小さく、文字量が多い。		
内容の構成配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア 賛成反対に分かれる意見や、解釈が異なることがらなどに対して、生徒が客観的に判断できるような記述になっていないように感じる。扱い方に軽重がある。 イ 小学校で学習した言葉が、導入クリップの2次		
	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	元コードで確認できるようになっている。  ア 漢字に対してのルビが非常に少なく感じる。 イ ユニバーサルデザインの観点で、ユニバーサルデザインフォントが採用されている。 ウ 100人以上の著作関係者に、女性が少ない。 (8人ではないかと思う。)多様な立場からの意見が教科書には取り入れられるべきと感じた。 エ 特別支援教育に関する校閲担当が2名。 オ 資料や特設コーナの文字が小さく読みにくい。 カ LGBTQ+は、「平等権②共生社会を目指して」の単元における一部(7行)。		
その他	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア 見開き 2 ページごとに、QRコードがあり、調べたり、まとめたり、振り返ったりの学習活動を 支援する様々なコンテンツが用意されている。		
	⑦今日的な課題への対応や配 慮等	ア 「SDGs」は、1単元、第5章導入の活動に おいて、扱われている。 イ 「環境問題」に関しては、3単元「地球環境問		

- 題」・「気候変動と資源エネルギー問題」・特設ページの「これからの日本のエネルギーを考える」で扱われている。
- ウ 「防災」は、1単元、特設ページ「東日本大震 災からの復興と防災で見開き2ページの扱いがあ る。
- エ 「平和主義」は1単元「平和主義の意義と日本の役割」で、憲法9条・自衛隊・日米安全保障条約・アメリカ軍基地・集団的自衛権・非核三原則について扱われている。また、「平和な世界に向けて」で、地球規模の平和について扱っている。
- オ 「消費者問題」は、3 単元「契約と消費生活」「消費者の権利を守るために」特設ページ「契約と支払い方法あれこれ」で扱っている。

教科 社会	種目 公民	番号 17	略称 教出	書名 中学社会 公民 ともに	生きる
-------	-------	-------	-------	----------------	-----

項目	観点	特徴	
内容の扱い 学習方法 (活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」	ア 章を貫く問いがあり、各節各単元で問いの構造 化がなされていて、見通し・振り返りがしやすい 構成になっている。 イ 章 (大単元)を貫く問いに関してその問いを考 える意義づけがある。(学習の見通しが持ちやす く、学習前の自分自身の考えが確認できる。) ウ 学習課題の確認と振り返りが「確認」と「表現」 でできるようになっている。 エ 章のまとめでは、各節で学んだことのつながり	
	の涵養に向けた工夫	を確認し、自分の考えの変容をたどりながら章の 問いの答えを作っていくことができるようになっ ている。	
内容の構成	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア 賛成反対に分かれる意見や、解釈が異なることがら、批判的な意見などに対して、生徒のとらえ方が偏らず、客観的に判断できるようバランスをとった記述になっている。 イ 小学校での学習、他分野、他教科との関連、SDGsとの関連が、小単元ごとに示されている。ウ 各章のまとめの最後JUNP!「未来のためにできること」で、持続可能な社会(SDGs)の実現に向けてのページがあり、一貫性がある。	
配列への配慮と工夫等	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	ア 漢字に対してのルビが少なく感じる。 イ ユニバーサルデザインの観点で、ユニバーサルデザインフォントが採用されている。 ウ 約30人の著作者に、女性が3人である。(名前から判断)多様な立場からの意見が教科書には取り入れられるべきと感じた。 エ SDGs・ESDに関する校閲者が2名、特別支援教育の監修が1名。 オ LGBTは、特設ページの「LGBTと自分らしさ」で1ページの扱いになっている。	
その他	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア 5ページに2次元コードがあり、調べたり、まとめたり、振り返ったりの学習活動を支援する様々なコンテンツがすべての章ごとに用意されている。さらに、章ごとや必要な資料ごとに2次元コードで様々な学習を支援するコンテンツが用意	

されている。

イ 「公民の技」では、必要な動画が2次元コード で見られるようになっており、生徒の理解や考え を深められる。

## ⑦今日的な課題への対応や配 盧等

ア 「SDGs」について、巻頭から本質的な問い として公民学習の中心課題と位置づけ、この教科 書の大きな柱としている。

また、「SDGs」について「持続可能な未来と私たち」特設ページ「なぜ子どもたちのためにSDGsを達成するべきなのだろう」の2単元扱いになっている。

さらに、「持続可能な社会に向けて」という特設ページをつくり「なぜ」で始まる問いのもとに13のテーマでかなり詳しい資料・事例が扱われている。

- イ 「環境問題」に関しては、「循環型社会に向けて」 「生命の星を守るために (地球環境問題)」「これ からの資源・エネルギー」の3単元で扱われてい る。
- ウ 「防災」は、特別な単元としては扱っていない。 エ 「平和主義」は3単元6ページ連続の扱い。「憲 法に定められた平和主義」で憲法9条・自衛隊に ついて、「日米安全保障と平和主義のこれから」で 日米安全保障条約・アメリカ軍基地について、特 設ページ「なぜ沖縄に米軍基地が集中しているの だろう」で沖縄と米軍基地・集団的自衛権につい て扱っている。非核三原則については、2カ所で 扱われ、欄外に説明がある。また、「核なき世界の 実現」で、地球規模の平和について扱っている。
- オ 「消費者問題」に関して、「消費者を守るもの、 支えるもの」1単元で扱っている。
- カ 巻末の法令集に比較的新しい今日的な課題に対応するために制定された法令が掲載されている。

項目	観点	特徴
内容の扱い 学習方法 (活	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 章を貫く問いがあり、各節各単元で問いの構造 化がなされていて、見通し・振り返りがしやすい 構成になっている。 イ 毎時の学習課題において節の問いが意識される よう、単元名の下に記述してある。 ウ 章の問いの意義づけが少ない。 エ 学習課題の確認と振り返りが「確認しよう」と 「説明しよう」でできるようになっている。
動)	③「学びに向かう力、人間性等」 の涵養に向けた工夫	オ 主体的対話的学びを実践する「アクティブ公園 AL」ページがほぼすべての節に設定してある。(毎時の学びごとに、対話を広げる問いや活動が提案してある。様々な工夫があり、授業者が取捨選択する余地が多くつくられている。)カ 「学習を振り返ろう」で節を振り返り、その」で章を振り返り、章の問いに対する答えをまとめる構成になっている。
内容の構成配列への配慮	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア 賛成反対に分かれる意見や、解釈が異なることがら、批判的な意見などに対して、生徒のとらえ方が偏らず、客観的に判断できるよう曖昧な表現をせず、両者の意見をわかりやすく記述している。イ p207「アクティブ公民」のワークシートにおいて、第4章第2節「地球的課題とその解決」の各小単元で考えたこととSDGsを関連づけられるようになっており、第5部の課題探求学習に活用できるようになっている。ウ 小学校、中学校の地理、歴史、他教科との関連が見開きページごとに示されている。
と工夫等	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	と感じる。

		オ LGBTQ+は、2単元p49「性差を超えた 平等の実現」の項目とp73の「多様性を認め合 う社会へ」で扱っている。 カ 多文化共生社会を意識した資料がP12~15 に多く掲載されている。
	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア 節ごとに、2次元コードがあり、調べたり、まとめたり、振り返ったりの学習活動を支援する様々なコンテンツが用意されている。
その他	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 「SDGs」は、2単元「私たちと持続可能な 社会」「持続可能な社会に向けて」で大きく扱われている。 イ 「環境問題」に関しては、3単元「地球規模で広がる環境問題」「資源エネルギーの問題」「脱炭素社会に向けて取り組み」で扱われている。 ウ 「防災」に関しては、1単元「情報化と防災・減災」というコラムで扱われている。 エ 「平和主義」は1単元「日本の平和主義」で、憲法9条・非核三原則・自衛隊・日米安全保障条約・アメリカ軍基地・集団的自衛権について扱われている。また、「現代における紛争」「兵器の脅威と軍縮の意義」で、地球規模の平和について2単元扱っている。 オ 「消費者問題」に関して、2単元「契約と消費者問題」と特設ページ「契約について考えよう」で扱っている。 カ 特設ページ「未来に向けて」で今日的な課題13テーマを扱っている。 キ 巻末の法令集に比較的新しい今日的な課題に対応するために制定された法令が掲載されている。

教科 社会	種目 種目	公民	番号 116	略称	日文	書名	中学社会	公民的分野	
-------	-------	----	--------	----	----	----	------	-------	--

項目	観点	特徴
	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 章を貫く問いがあり、各節各単元で問いの構造 化がなされていて、見通し・振り返りがしやすい 構成になっている。 イ 学習課題(小単元の問い)自体は、大きな問い
内容の扱い 学習方法 (活動)	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	になっているが、見方考え方の項目で焦点化が図られている。 ウ 学習課題の確認と振り返りが「確認」と「表現」 でできるようになっている。
	③「学びに向かう力、人間性等」 の涵養に向けた工夫	エ 章の問いのまとめがある。しかし、章の問いが かなり大きなことがらを扱っているので、多くの 生徒はまとめることが難しいと思う。 オ 章の問いの意味づけとして、イラスト・漫画を 使い説明文も加えられている。
内容の様子	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア 見開き2ページに、テーマを盛り込みすぎず、 一つのテーマに絞って学習しやすい小単元構成になっている。 イ 小単元ごとに節の問いも記述してある。 ウ 他分野との関連が単元ごとに書いてある。 エ 賛成反対に分かれる意見や、解釈が異なることがら、批判的な意見などに対しても、生徒のとらえ方が偏らず、客観的に判断できるようバランスをとった記述になっている。
内容の構成配列への配慮と工夫等	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	ア 漢字に対してのルビが少なく感じる。 イ ユニバーサルデザインの観点で、ユニバーサルデザインフォントが採用されている。 ウ 70人の著作者に、女性が14人。他の教科書に比べるとかなり多くの女性が参加している。 エ 特別支援教育・カラーユニバーサルデザインに関する校閲担当が1人。 オ LGBTの表現で、「共生社会をめざして」本文中6行の扱い。語句の説明はある。 カ 「めざす」がひらがな表記されている。他の教科書は漢字表記の「目指す」になっている。
その他	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア 見開き 2 ページごとに、 2 次元コードがあり、 調べたり、まとめたり、振り返ったりの学習活動 を支援する様々なコンテンツが用意されている。

⑦今日的な課題への対応や配 盧等

- ア 「SDGs」は、4単元「持続可能な社会と私たち」「国際社会と持続可能性」、特設ページ「SDGsから社会の課題を考えよう」「SDGsから未来の社会を考えよう」かなり重きを置いて扱っている。
- イ 「環境問題」に関しては、2.5単元「限りある資源とエネルギー」「地球規模の環境問題と国際協力」で扱っている。また、「財政の変化」の中で環境保全における政府の役割の項目で扱っている。「
- ウ 「防災」は、2単元、特設ページ「災害に強い 暮らしを築く」「私たちの暮らしと地方自治」の中 の災害と地方自治の項目の中で扱っている。
- エ 平和主義は3単元の扱い。「日本の平和主義」が 節として扱ってあり、「日本国憲法の平和主義」「日 米安全保障条約と日本の国際貢献」と4ページの 扱いである。また、「日本の平和主義と国際貢献」 で、地球規模の平和について扱っている。
- オ 「消費者問題」に関して、2単元「消費者の権 利と自立を支える政府のはたらき」特設ページ「契 約について考えよう」で扱っている。

教科 社会   種目 公民  番号 225  略称 自由社  書名 新しい公民教科書	教科 社会	種目 公民 番号 225	略称 自由社	書名 新しい公民教科書	
--	-------	--------------	--------	-------------	--

項目	観点	特徴
内容の扱い 学習方法 (活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 章の問い (大単元) は問いかけの形で提示され、設定された前提が簡単に付け加えられている。章を貫く問いとして、最後にまとめられてはいない。 節の問い (中単元) はない。 イ 小単元 (毎時間の授業) の問いがそれぞれ設定されている。問いの形ではなく単元の目標的に提示されているものもある。 ウ 見開き2ページの最後「ここがポイント」に、小単元の問いに対する答えが書いてある。 エ 大単元を貫く問いに対して各節・各単元の問いが構造化されていない。
内容の構成配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 家族や男女のとらえ方に旧民法的な見方が強いと感じる。戦前の「家」を中心にしたまとまりの強調があり、「昔から日本人は祖先を敬い」「家庭を預かる主婦という理想像が実現しました。」など執筆者の断定的なとらえ方の記述がある。さらに、「絆」という言葉で家族による個人の縛りを強調しているように感じる。 イ 中学生にとってはあまりなじみのない歴史上の人物が資料として多く出てくる。本文中にはその記述がほとんどなく唐突な感じがする。ウ 中国、北朝鮮に関係する記述が多い。「三権分立ではない中国」「中国の会社は共産党のもの」「尖閣諸島を狙う中国」「天安門事件と劉暁波」「中国の政治経済体制」「中華人民共和国の人権問題」「北朝鮮および韓国の人権問題」「日本人拉致問題」エ 安全保障・国防・自衛隊に関する記述や資料が多く、護衛艦や戦闘機・戦車等の写真も多い。オ 憲法が生まれた背景(民主主義・立憲主義)から、日本国憲法の成り立ち、国民主権、象徴天皇制までの記述が特設ページを含めて16ページ。他の教科書の約2倍である。その分経済に関するページは45ページ、他の教科書が50~60ページ扱っていることと比べるとかなり少ない。

	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	ア 中学生が学習するには難しいと思われる語句・表現が使われている。「総攬」「研鑽」「協賛」「挺身」「防衛大綱」「治安出動」「周辺事態法」「限定的行使」「存立危機事態」「重要影響事態法」 イ 著作関係者の欄に、女性が1人もいない。(名前を見たのみの判断)多様な立場からの意見が教科書には取り入れられるべきと感じた。ウ さくいんにLGBTQ+の項目がない。エ 本文にある漢字のルビ振りが少ない。オ 資料が少なく本文量が多い。また、1ページの中に余白がかなりある。
	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア 他の教科書にある節ごとや章ごとの、2次元コ ードを利用した資料はない。
その他	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 「SDGs」は、「地球規模の福祉」の項目で数行の扱い。17の開発目標が表でかいてある。 イ 「環境問題」に関しては、「エネルギーと資源の未来」「地球環境問題と国際協力」「環境保全と私たちの責任」の3単元で主に扱っている。ウ 「防災」に関しては、特設ページ・もっと知りたいの「地方自治と防災」で2ページ扱っている。エ 「平和主義」は4単元、「平和主義と安全保障」で、憲法9条・自衛隊について、特設ページ・もっとわかっての「わが国の安全保障の課題」で、憲法9条・自衛隊について、「自衛隊と日米安全保障条約」で、自衛隊・集団的自衛権・日米安全保障条約・アメリカ軍基地・集団的自衛権について扱われている。また、「核兵器の脅威と向き合う」「日本の安全と世界の安全」で、核の問題について扱っている。「非核三原則」に関しては、本文中に2回記述され、簡単な説明が欄外にある。世界と協調することより、軍事力や核の抑止力で平和を維持するという考え方を強く感じる。オ 「消費者問題」に関して、「消費者の保護」の1単元で扱っている。消費者問題に関する事例が具体的な資料を使って扱われていない。

教科 社会	種目 公民	番号 227	略称 育鵬社	書名	新しいみんなの公民
-------	-------	--------	--------	----	-----------

項目	観点	特徴
内容の扱い 学習方法 (活 動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 章を貫く問いがあり、各節各単元で問いの構造 化がなされていて、見通し・振り返りがしやすい 構成になっている。 イ 毎時の学びにおいて節の問いが意識されるよ う、単元名の上に記述してある。 ウ まとめのページの内容が薄い。 エ 学習課題の確認と振り返りが「確認」と「探求」 でできるようになっている。
	③「学びに向かう力、人間性等」 の涵養に向けた工夫	
	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア 国民や国家のとらえ方の表現に、一面的な部分 の強調が多いように感じる。「我々という意識」「帰 属意識」「国の名誉や存続」「国家としての一体感」 「祖国を意識」
内容の構成配列への配慮と工夫等	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	ア 中学生が学習するには難しいと思われる語句・表現が使われている。「総攬」「協賛」「補弼」「臨席」「大御宝と称された民」「無私」「体現」「敬愛」「賓客」「信任状捧呈式」など( )で言い直しがしてあるものもあるが、わかりにくい。 イ ユニバーサルデザインの観点で、ユニバーサルデザインフォントが採用されている。 ウ 著作関係者の欄に、女性が1人もいない。(名前を見たのみの判断)多様な立場からの意見が教科書には取り入れられるべきと感じた。 エ さくいんにLGBTQ+の項目がない。
	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア 章ごとに、2次元コードがあり、NHKfor school や、行政のホームページにつながる。
その他	⑦今日的な課題への対応や配 慮等	ア 「SDGs」は、2単元「SDGsがめざす持続可能な開発」と章末の特設ページ「地域のSDGsの取り組みを調べよう」で大きく扱っている。 イ 「環境問題」に関しては、2単元「地球規模の環境問題」「資源・エネルギー問題」で扱われている。 ウ 「防災」に関しては、「情報化と防災」で本文7行、特設ページ・学習を深めようの「防災・減災と情報通信技術」2ページで扱われている。

- エ 「平和主義」について2単元、憲法9条・自衛隊について、「平和主義と防衛」で、日米安全保障条約・アメリカ軍基地・集団的自衛権について扱われている。また、「世界平和の実現にむけて」で、地球規模の平和について扱っている。「非核三原則」に関しては、本文横の欄外に説明が少しだけである。世界平和に向けて協調よりも危機感をあおるような表現が多いように感じる。 オ 「消費者問題」に関して、「消費者の権利と保護」
  - オ 「消費者問題」に関して、「消費者の権利と保護」 の1単元で扱っている。消費者問題に関する事例 が具体的な資料を使って扱われていない。

## ⑧公民のとらえ方 公民的分野を学ぶ意義のとらえ方

ア「自分以外のもののためにも、努力し活動できる 人」「公のために行動できる人」「国家や社会全体 の利益や関心という観点から行動しようとする」 「社会を外敵から守るという課題を引き受けなけ ればなりません」等の記述から、個人よりも全体 や国家を重要視するとらえ方が強いと感じる。

社会科	地図	2	東書	新編	新しい社会	地図	
-----	----	---	----	----	-------	----	--

項目	観点	特徴
内容の扱い学習方法	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア巻頭で地図帳の活用方法が示されており、地図の活用技能習得に 適している。P5~7 イ地域の概観をとらえるために自然・産業・人口などの主題図を共通し て掲載し、基礎的・基本的な知識の習得に適している。P23,24
法(活動)	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア単元の探求課題に沿って学習する際に活用できる資料が掲載されている。P37~40 イ地図帳活用コーナーBees eye では「1 枚の図を見て取り組む」「2 枚以上の図を見て取り組む」「自ら調べたり考えたりする」の3つの問いが設定されており、発展的な学習につなげる工夫がある。 P9,28,60
	③「学びに向かう力、人 間性等」の涵養に向けた 工夫	ア地図帳内で関連する図版を「ジャンプ」コーナーで示し、併せて見ることで、学びを深める工夫がされている。P13,48 イ世界の生活や文化を示す写真や、さまざまな言語の会話例など、興味・関心を高める資料が掲載されている。P15,16,137
内容の構成配列への配	④単元の内容・構成、系 統性の工夫、カリキュラ ム・マネジメントへの対 応	ア他分野との関連に配慮した地図や資料が掲載されており、歴史学習や公民での学習にも活用できる。P13,14,43 イ教科書の構成に準じた配列で、「世界全体の外観」「世界の各州」「日本の各地域」「世界や日本全体の資料」「統計」の順に配列されている。
盧と工夫等	⑤配慮を要する児童生 徒、外国人児童生徒等日 本語指導が必要な児童 生徒、多様性への対応や 配慮	ア特産物などのイラストが地図中に多く記載されており、文字だけでなく視覚的にわかりやすい。P31,40
その他	⑥デジタル化、情報化等 への対応や配慮	ア QR コンテンツ、デジタル地球儀「MY GLOVE」では、地球儀を 回し詳しく見たい場所を拡大することや、白地図作業をすること ができる。
	⑦今日的な課題への対応 や配慮等	ア SDGs について紹介し、関連するページにはアインコンが表示されている。P8 イ環境問題や災害・防災などの課題に対する資料が多い。 P13,14,135,136

社会科   地図   46   帝国   甲字校社会科地図	社会科	地図	4 ()	(田)  玉	中学校社会科地図
-------------------------------	-----	----	------	--------	----------

項目	観点	特徴
内容の扱い学習方法(	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア地図帳の基本的な見方・使い方について巻頭に解説ページが設けられている。P4~7 イ世界の六州には、自然環境や生活、文化などのイラストを配した鳥観図があり、地域的特色を視覚的にとらえる工夫がされている。 P29,30
(活動)	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア「地図で発見」(156 問)で社会的な見方・考え方に着目した問いが設定されている。P49,104 イ巻頭と巻末の資料図に「主題学習」が設けられており、そのページで扱うテーマを追求する際の着眼点が示されている。P9~14 ウ世界地図に、世界の国々と日本の大きさを比較することや、緯度や経度による位置関係の比較ができるよう、随所に同緯度・同縮尺の日本地図が掲載されている。P45,49
	③「学びに向かう力、人 間性等」の涵養に向けた 工夫	ア生徒が主体的に学習し、資料活用の力を育成することができるコンテンツが多数準備されている。 イ小学校で身につけた技能を発展させた「この地図帳の使い方」が設けられている。P5,6,7
内容の構成配列へ	④単元の内容・構成、系 統性の工夫、カリキュラ ム・マネジメントへの対 応	ア他分野との関連に配慮した地図や資料が掲載されており、歴史や 公民での学習や修学旅行等で活用できる。(p85、93、109~114、 152 など) イ教科書で扱う内容をより深められるよう、資料は地域の特色が理 解できる題材を設けている。P31,32,91,92
の配 ⑤配慮を要する児童生 ア写真資料が多く 慮 と 徒、外国人児童生徒等日 イ伝統・文化など		ア写真資料が多く掲載されており、視覚的な支援を得やすい。 イ伝統・文化などに関してわかりやすい工夫として、絵記号が多く 用いられている。P126,141,174
その他	⑥デジタル化、情報化等 への対応や配慮	ア QR コードから NHK FOR SCHOOL や衛星画像、日本の基礎的 主題図などのコンテンツ(971)へつながる。
	⑦今日的な課題への対応 や配慮等	ア SDGs について紹介し、関連するページにはアインコンが表示されている P32,92 イ環境問題や災害・防災などの課題に対する資料だけでなく、地域ごとの防災資料が掲載されている。P9~12、155、156、159~162

## 数学

数学	数学	2	東書	新しい数学

項目	観点	特徴
内容の扱い 学習方法 (活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 章末に、「章の問題 A」「章の問題 B」のページを配置し、生徒の習熟度に合わせて取り組めるようになっている。  イ 既習の学習との共通点や相違点を見つけるための「同じように考えると」や、条件を変えて見出したり、発展的に考えたりするための「それなら」等を添えている。 ウ 各章のとびらで生徒が身の回りで疑問を感じる場面が設定されており、各節でもこの場面で問題提起がされている。章を貫く題材が多く用意されている。 エ すべての章に「深い学び」のページを配置している。右ページから始まり、次ページの生徒の考えが見えないため、生徒の思考を妨げない工夫がされている。 オ 多様な学びに対応するために、巻末に「数学の目でふりかえろう」「学びのベース/学びのマップ」「振り返り/補充の問題」等が用意されている。生徒の習熟度や興味関心に応じて学ぶことができるようになっている。
内容の構成配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア 1年教科書には、小学校と中学校の学びをつな ぐページとして、0章が設けられている。0章 には、「素因数分解」「自然数」「指数」が配置されている。 イ 正負の数の乗法・除法では、「乗法」「指数」「除 法」の順になっている。 ウ 単元名が、身につけたい資質・能力に沿ったものになっている。 エ 平面図形では「移動」「作図」「おうぎ形」の順になっている。 オ 2年生では「確率」「箱ひげ図」の順になっている。 カ 二次方程式の解き方では、「平方根利用」「解の 公式」「因数分解」の順になっている。

	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	アイウ	Google 翻訳が利用可能になっており、多言語に対応することができる。(デジタル教科書)登場キャラクターや問題場面で男女の区別がないようになっている。 色数を少なくして見やすい紙面になっている。
その他	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	アイ	問題場面の動画、演習問題の解答確認、シミュレーション、ワークシートなど QR コンテンツが多く取り入れらており、授業での活用や自主学習がしやすくなっている。 「シミュレーション」「証明メーカー」「対話シート」等、活動で利用できるデジタルコンテンツが充実している。
	⑦今日的な課題への対応や配 慮等	アイ	れており、SDGs の意識が高められるようになっている。

数学 数学 4 大日本 数学の世界(※令和2年検定済	
数学 数学 4 大日本 数学の世界(※令和2年検定済	<b>(</b> *)

項目	観点	特徴
内容の扱い 学習方法 (活 動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<ul> <li>ア 単元末に「活用・探究」のページを配置して、身の回りのことがらについて考えられるようになっている。</li> <li>イ 「例」の後に「Q」「プラスワン」の問題が配置されており、繰り返し取り組めるようになっている。</li> <li>ウ 各節の後に「たしかめよう」を配置し、学習内容の定着を図るようになっている。</li> <li>エ 1つの計算問題につて複数の解き方を例示して比べられるようになっている。</li> </ul>
内容の構成 配列への配慮 と工夫等	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア 1年教科書では、1章の最初に「素因数分解」「指数」が配置されている。 イ 正負の数の乗法・除法では、「乗法」「指数」「除法」の順になっている。 ウ 平面図形では、「おうぎ形」「作図」「移動」の順になっている。 エ 2年生では「箱ひげ図」「確率」の順になっている。 オ 二次方程式の解き方では、「因数分解」「平方根利用」「解の公式」の順になっている。
	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	<ul><li>ア 登場キャラクターが性別や国籍の偏りがないように工夫されている。</li><li>イ 教科書に書き込みやすいように適度に余白が設けられている。</li></ul>
その他	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア すべての例題について詳しく解説する動画やシ ミュレーションが WEB上に用意されており、 個別学習で利用しやすくなっている。 イ データの活用領域で、図や表、グラフが作成で きるようなコンテンツが用意されている。

⑦今日的な課題への対応や配 慮等

- ア SDGs と関連した防災や社会参画、環境問題についての題材を取り入れている。
- イ 単元末に「社会にリンク」のページを設定して おり、社会と数学とのつながりを考えたり、キャリア教育につなげたりできるようにしてあ る。
- ウ 「MATHFUL」で生活に生かされている数学に ついて触れられている。
- エ 学習内容のページ数や重さ

1年: 250P 2年: 186P 3年: 222P 1年: 610g 2年: 450g 3年: 520g

数学	数学	1 1	学図	中学校数学

項目	観点	特徴
内容の扱い 学習方法 (活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 章末の「章のまとめの問題」を「基本」・「応用」・「活用」の3つに分け、個々の習熟度に柔軟に対応できるようになっている。 イ 「Q」での話し合いを通して、目標を設定したり、解決への見通しを立てたりすることで、主体的・対話的に学習が進められるようになっている。 ウ 「説明する力をつけよう」ページを設定し、生徒同士の対話を通して、他者にわかるように説明するには何が必要かを考えるしかけがある。エ 「数学活動のページ」では、生徒同士の話し合いを通して、他者の考えに触れることができる。また、問題を解決して終わりではなく、新たな問題を提示することで、深い学びに向かう態度を育成することができる。オ 巻末の「表現する力をつけよう」では、レポートの作成から発表までを意識したポイントや例を提示し、表現力やコミュニケーション能力を高めることができる。
内容の構成 配列への配慮 と工夫等	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア 各領域に入る前の「ふりかえろう」では、小学校の内容や前学年までの学習を振り返ることで、学習のつながりを意識することができる。 イ 「素因数分解」は、正負の数の「数の集合」の中に配置されている。 ウ 正負の数の乗法・除法では「乗法」「指数」「除法」の順になっている。 エ 平面図形では「作図」「円」「移動」の順になっている。 オ 「おうぎ形」は空間図形で扱われている。 カ 2年生では「確率」「箱ひげ図」の順になっている。 キ 二次方程式の解き方では、「因数分解」「平方根利用」「解の公式」の順になっている。

	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	ア	生徒同士の対話や協働的な学習の場面では、男女の偏りなく登場人物を取り上げ、男女平等の 観点から、言葉遣いも男女共通になっている。
	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	アイ	「アニメーション」「チャレンジ」「パトロール隊(まちがいやすい問題の注意点)」など QR コードに10種類のコンテンツが用意され、個別最適な学び、協働的な学びに対応できる。データの活用領域で、図や表、グラフが作成できるようなコンテンツが用意されている。
その他	⑦今日的な課題への対応や配 慮等	アイウ	各学年の巻末「今の自分を知ろう」では、SDGs に触れることで、国際的な課題に取り組めるようになっている。 キャリア教育の一環として、数学を実際の仕事に役立てている人のコラム「数学の力」を掲載し、数学の有用性を実感できる。 学習内容のページ数や重さ 1年:267P 2年:208P 3年:250P 1年:550g 2年:490g 3年:570g

粉学	粉学	1 7	<b>₩</b> Ш	中学拉粉学
<b>数子</b>	<b></b>	1 (	教山	中子仪数子

項目	観点	特徴
	①「知識及び技能」を習得す るための工夫	ア 各章の終わりに「学習のまとめ」を設け、穴 め形式で基礎・基本を確認できる。また、「章 問題」では、「たしかめよう」「力をのばそう 「学んだことを活用しよう」という構成にし
内容の扱い	②「思考力、判断力、表現力 等」を育成するための工夫	すべての生徒の学力を伸ばすために扱える形になっている。  イ 基礎・基本をスモールステップで習得できる う、例(例題)と問の間に、例(例題)に類似した
学習方法(活動)	③「学びに向かう力、人間性等」 の涵養に向けた工夫	題である「たしかめ」を設けている。例(例是にならって問題を解けるので、学力に不安の る生徒でも自信を持ちながら学習に取り組 る。
		ウ 巻末の「学びのマップ」では、前学年までの 習内容をまとめている。すべての学年に掲載 れているので、忘れてしまった内容があると は、いつでも振り返って確認することができる
内容の構成配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア「?(はてな)」学習過程で生じる生徒の疑問から「!(なるほど)」学習してわかったことや解のしかたを見いだし、さらに「!?(だったら)」たな疑問へつながる構成になっている。 イ 1年教科書では、1章が整数の見方となってり、「素因数分解」を扱っている。 ウ 正負の数の乗法・除法では「乗法」「指数」「法」の順になっている。 エ 平面図形では「円」「作図」「移動」の順になている。 オ 「おうぎ形の面積」については平面図形で取上げ、再度、空間図形の「円錐の側面積」の
C 工人 针		型で扱われている。 カ 2年生では「確率」「箱ひげ図」の順になってる。 キ 3年図形領域の学習を「相似な図形」「円」「平方の定理」の順序にしている。「円」では「似な図形」との融合問題を扱い、さらに「三方の定理」では総合的な問題を扱っている。 ク 二次方程式の解き方では、「因数分解」「平方利用」「解の公式」の順になっている。

	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	ア	教科書に登場する4人の生徒は、男女偏りなく 掲載している。また、外国にルーツをもつ生徒 を登場させて、多様性や異文化への理解を促し ている。
	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	アイ	「まなびリンク」では、学習活動が活性化する コンテンツや内容の理解に効果的なコンテンツ が用意されているので、普段の授業に無理なく 取り入れることができる。 紙媒体では実現が難しい動的な表現や立体的な 表現などによって、学習内容の理解を助けるコ ンテンツも多数用意してある。
その他	⑦今日的な課題への対応や配 慮等		章のとびらでは、実社会や日常生活、先端テクノロジーなどの数学に関わる話題を取り上げている。「数学しごと人」では、社会で活躍している方へのインタビュー内容を掲載している。実社会で数学が役立っていることや数学を学ぶ意義が実感できるようになっている。 学習内容のページ数や重さ 1年:267P 2年:209P 3年:235P 1年:600g 2年:490g 3年:540g

数学	数学	6 1	啓林館	未来へひろがる数学

項目	観点	特徴
内容の扱い 学習方法 (活	①「知識及び技能」を習得す るための工夫	ア 章末に「学びをたしかめよう」「学びを身につけ よう」のページを配置し、生徒の習熟度に合わ せて取り組めるようになっている。また、問題 量も充実している。
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	イ 「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」では、自分の考えを整理し、まとめて伝えたり、 他者と自分の考えを比較して考えたりする場面 を設け、思考力・判断力・表現力が高まるよう
	③「学びに向かう力、人間性等」 の涵養に向けた工夫	に工夫されている。 ウ 単元はじめのとびらでは、身のまわりの題材を 取り上げ、社会と数学のつながりを実感できる
動)		ように工夫されている。 エ データの活用領域を除くすべての単元に「〇〇の利用」の節を配置されている。数学的な問題発見・解決の過程を意識できるよう、「ステップ方式」の課題が設けられており、見通しを持って学習できるようになっている。 オ 多様な学びに対応するために、巻末の「数学広場」に「学びをふりかえろう」「力をつけよう」「学びをいかそう」が用意されている。生徒の習熟度や興味関心に応じて学ぶことができるようになっている。
内容の構成 配列への配慮 と工夫等	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア 「素因数分解」は、正負の数の「数の世界のひろがり」の中に配置されている。 イ 正負の数の乗法・除法では「乗法」「除法」「指数」の順になっている。 ウ 平面図形では「移動」「作図」「円とおうぎ形」の順になっている。 エ 2年生では「確率」「箱ひげ図」の順になっている。 オ 二次方程式の解き方では、「平方根利用」「解の公式」「因数分解」の順になっている。

	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	アイウ	教科書を多言語に表示できるアプリ「マルチリンガル教科書」が用意されている。(有料・別売) 教科書のイラスト内に、外国籍の生徒や、車いす、めがねを使用している生徒など様々な特性を持つ生徒を登場させ、多様性が紙面に表現されている。 適度の余白があり読みやすく、書き込みやすい工夫がされている。
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア イ ウ	教科書紙面に載せるべき内容と教科書紙面でなく QR コンテンツで扱う内容とが精選されている。それにより、教科書のページ数が削減され軽くなったことで、生徒の持ち歩きの負担が軽減される。 すべての「例」「例題」について、各学年前見返しに掲載されている QR コードから「解説動画」のコンテンツが視聴できる。特別支援や個別最適化、家庭学習にも対応できるようになっている。 動画、シミュレーション、スライド、解説、補充問題など QR コンテンツを豊富に用意することで、教師の指導の幅を広げるとともに、1人1台端末を有効活用した深い学びが実現できるようになっている。
	⑦今日的な課題への対応や配 慮等	アイ	環境問題、防災、SDGs など、今日的な社会課題が取り上げられている。持続可能な開発目標に関する題材には、SDGs マークを添え、数学の学習を通じて、これらの社会問題についても考えられるようになっている。 学習内容のページ数や重さ 1年:236P 2年:181P 3年:209P 1年:500g 2年:400g 3年:500g

項目	観点		特徴
	①「知識及び技能」を習得す るための工夫	動機を与えるように工夫されている 「問」にも思考力・判断力・表現力を	「Q」「TRY〇」を中心としてつねに生徒に学習動機を与えるように工夫されている。通常の「問」にも思考力・判断力・表現力を必要とする問題を適宜配置することで、確かな理解と活
内容の扱い 学習方法 (活動)	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	イ	用する力が深まるように工夫されている。 全体を通して、対話的な学びを前提とした構成 になっている。また、見いだしたことがらを説 明する問いかけや、方法や理由を説明する問い
	③「学びに向かう力、人間性等」 の涵養に向けた工夫		かけを各所に設けてある。 基本的な知識・技能が無理なく習得できるように、「例」や「問」を細かく設定している。特に 反復が必要だと考えられる項目の後に繰り返し 練習するための「練習問題」を設けてある。 多くの問いに「補充」のコンテンツを対応させ、 十分な演習量が確保されている。
内容の構成 配列への配慮 と工夫等	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	イウエオ	「素因数分解」は、正負の数の「いろいろな計算」の中に配置されている。 正負の数の乗法・除法では「乗法」「指数」「除法」の順になっている。 平面図形では「移動」「作図」「円」の順になっている。 「おうぎ形」は空間図形で扱われている。 2年生では「箱ひげ図」「確率」の順になっている。 二次方程式の解き方では、「因数分解」「平方根用」「解の公式」の順になっている。
	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	ア	キャラクターのセリフは、性差を感じさせないようになっている。また、服装や教材とのかかわり方について、男女の固定観念に拠らないようになっている。
その他	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮		紙面に掲載された URL や QR コードから、学びに役立つデジタルコンテンツを使うことができる。学習内容との関連が 5 種類のアイコン(Link 補充、Link イメージ、Link 資料、Link 考察、Link 探求)で示されている。 関数、図形、データの活用の各領域において、

	生徒が実際に操作をしながら考察する事がでる るデジタルコンテンツが準備されている。	ぎき
⑦今日的な課題への対応や配 慮等	ア SDGs に関した題材を扱っている。 イ 学習事項に関連した話題を扱った「数学旅行を充実させ、数学の有用性を実感できるようなっている。 ウ 「データの集め方」や「レポートの書き方」 関連して、インターネットを使用するときの意点に触れられるようになっている。 エ 学習内容のページ数や重さ 1年:246P 2年:200P 3年:241F 1年:550g 2年:460g 3年:550g	- に に )注

数学	日文	中学校数学
----	----	-------

項目	観点	特徴
内容の扱い 学習方法 (活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 巻頭の「学びに向かう力を育てよう!」で「主体的に学習に取り組む態度」とはどのような態度なのか、生徒や保護者にわかりやすいように、「解決の過程をふり返って評価・改善しようとする態度」等の具体例とともに示してある。 イ 各章に1か所以上「学びに向かう力を育てよう」として主体的に学習に取り組む態度を評価できるような課題を設けている。生徒キャラクターの吹き出しで、「主体的に学習に取り組む態度」を示唆している。また、巻末には学びの過程や変容を見取るための「ふり返りシート」が用意されている。 ウ それぞれの学習場面の横欄に「大切な見方・考え方とで、数学的な見方・考え方を働かせながら、思考力、判断力、表現力等を育成できるようになっている。
内容の構成配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応  ⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 「素因数分解」は、正負の数の中に配置されている。  イ 正負の数の乗法・除法では「乗法」「除法」「指数」の順になっている。 ウ 平面図形では「円」「移動」「作図」「おうぎ形」の順になっている。 エ 2年生では「確率」「箱ひげ図」の順になっている。 オ 二次方程式の解き方では、「因数分解」「平方根利用」「解の公式」の順になっている。 カ 他教科との関連を意識した題材を多数取り上げている。(理科:ビーカーの水を熱し始めてからの時間と水温)(社会:歩いて日本を測量した伊能忠孝)  ア ジェンダーレス制服を着た生徒キャラクターや外国にルーツがある生徒とともに学ぶ様子など、様々な人が平等に働き、助け合って生活する様子をイラストや写真で表してある。

	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	アイ	QR コンテンツが豊富に用意されており、1人1台端末環境での学びに対応している。 QR コンテンツは、「見る」「ためす」「身につける」等、コンテンツを起動しなくても内容を推測しやすいように分類されている。
その他	⑦今日的な課題への対応や配 慮等	アイウ	「大分国際車いすマラソン(比例のグラフの利用)」など、SDGs について数学を通して理解を深められるようになっている。 数学を仕事に生かしている人の話が掲載してある。数学の有用性を感じることができ、キャリア教育の教材にもなっている。 学習内容のページ数や重さ 1年:236P 2年:190P 3年:204P 1年:560g 2年:460g 3年:520g

## 理科

教科 理科	種目 理科 番号 2	略称 東書 書名 新編 新しい科学
項目	観点	特徴
内容の扱い 学 習 方 法 (活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 関連する内容に「参照ページ」のマークをつけるなど個々の知識がつながりやすくなっている。(1年P176、2年P77、3年P294など) イ 単元末には「学習内容の整理」「確かめ問題」「活用問題」が設けてあり、復習による知識の習得に役立つ。(1年P64~68、2年P80~84など) ウ 巻頭や各単元の導入において、身の周りの事象について考えさせる場面が多く設けてあり、興味・関心を高め、主体的に取り組みやすい。 (1年P190~192、3年P190~196) エ 各単元の学習前と学習後に同じ問いかけをする「Before&After」を設定し、学ぶ意味や有用性、自身の成長を実感しやすい。(1年P11、26など)
内容の構成	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア 他教科等での学習内容と関連のあるところには「○ ○で学ぶこと」と示し、教科をこえて学習がつなが るようにしてある。(1年P62、3年301) イ QRコンテンツを使って他教科の教科書の該当箇所 を確認することができる。
配列への配慮と工夫等	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	ア 本文などの主要部分にはユニバーサルデザイン書体 使用してあることで読みやすくなっている。 イ 色覚に関する個人差を踏まえ、色だけで情報を区別 しないようにするなど誰もが読みやすくなっている。(1年P111など) ウ 学年の発達段階に応じて本文の側注幅の大きさをかえ、資料が読みとりやすくなっている。
その他	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア 豊富なQRコンテンツが入っており、学習の定着や実験方法の確認、家庭学習での利用など幅広く活用することができる。 イ 全学年の巻末にQRコンテンツの種類や使い方の掲載があり(3年P307、1年P259)、情報収集の仕方や考察の仕方などのポイントが抑えてある部分もある。(3年P102、1年P110など)
	⑦今日的な課題への対応や配 慮等	ア 学習内容を通してSDGsを意識できるように関係が 深い部分には読み物資料がある。(2年P199) イ 防災教育やキャリア教育に関連する内容には読み物 資料があり、教科と結びつけて学習できる。 (1年P26、2年P221、3年P275)

教科 理科	種目 理科 番号 4	略称 大日本 書名 理科の世界
-------	------------	-----------------

項目	観点	特徴
内容の扱い 学 習 方 法 (活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 各学年のはじめに「理科の学習の進め方」が設定されており、学習の流れに見通しをもって取り組める工夫がある。 イ 探求の過程にそった学習がしやすいようにマークが示してある。(1年 P23) ウ 各章ごとに章末問題が設けてあり、学習内容の定着度をはかることができる。また、どこを確認すればよいかページが示してあり主体的に学習に取り組むことができる。(1年 P43) エ 例題や類題を示し、計算問題に取り組みやすくしてある。
内容の構成 配列への配 慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア 学年ごとに探求の過程で重視する項目が異なり、学年が上がるごとより深まる工夫がされている。 イ 単元のはじめに「これまで学習したこと」「これから学習すること」が見開きで示してあり、既習事項とのつながりを確認しながら学習できるようにされている。(1年 P196) ウ 「つながる」マークが示してあり、他教科や他学年との関連が記載されている。(2年 P41) エ 章末の「まとめ」教科書全体を通した「発展」の記載で柔軟な学習計画に対応できる工夫がある。
	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	<ul><li>ア 教科書全体でユニバーサルフォントが使用されている。</li><li>イ 小学校以外で使用する漢字については振り仮名がついている。</li><li>ウ デジタル教科書では13ヵ国語に対応されている。</li></ul>
	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア 教科書全体でタブレットマークと二次元コードが表示されウェブで動画や資料を確認することができる。 イ WEB コンテンツを利用し学習内容の確認ができる。
その他	⑦今日的な課題への対応や配 慮等	ア SDGsへの理解を深め、話し合うことのできる資料がある。(2年P287) イ 国際理解、多様性理解につながる資料取り上げてある。(1年P267、2年P209) ウ 学習内容と日常生活や文化、防災、環境保全などとつなげて考えていける資料が掲載されている。

教科 五	理科	種目	理科	番号	11	略称	学図	書名	中学校	科学	
------	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	--

項目	観点		特徴
	①「知識及び技能」を習得す るための工夫	ア	えたり基本問題に慣れたりするなど、知識習得のための工夫が施してある。 $(1 \pm P145 \sim P146 $ など)
内容の扱い学習方法(活	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	イ	各学年とも巻末に「基本操作」の頁があり、観察・実験の基本的な技能を習得するための工夫が施してある。(1年 P204~P215、2年 P242~P249)
動)	③「学びに向かう力、人間性等」 の涵養に向けた工夫	ウ	「理路整然」という頁があり、思考力、判断力、 表現力を育成するための工夫が施してある。(1 年 P15、2年 P77 など)
		工	探求の頁が適所に掲載してあり、思考力、判断力、表現力を育成するための工夫が施してある。 (1年 P176~P177 など)
内容の構成 配列への配慮 と工夫等	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	アイ	各単元の最初に「ふり返ろう・つなげよう」や 「Can-Do List」の頁があり、内容・構成・系統 性の工夫が施してある。(1年 P7、P45 など) 頁右上に、「この時間の課題」が示されており、 学習課題が明確に示してある。(1年 P57 など)
	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	アイ	紙面の左側に本文がくるように構成されており、見やすくなるように工夫されている。 二次元コードが紙面の上部に統一され、教科書のページ内容がウェブページとして構成された「ミライ教科書」が6か国語の切り替え可能となっている。
	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア	教科書のページ内容が、ウェブページ化してあり、ブラウザ自体の機能で、「音声読み上げ」「色調反転」などの UD 機能が施してある。
その他	⑦今日的な課題への対応や配 慮等	アイ	各単元において、SDGs を意識して関連項目が付記してある。(1年 P9、P21 など)3年生の「環境」分野では、持続可能な社会の実現に向けてこれまで学習してきた内容を総合的に扱いながら、現代社会が抱える問題点を各単元と関連付けて取り上げている。

項目	観点		
内容の扱い 学習方法 (活 動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	アイウ	「要点チェック」「要点と重要用語の整理」「基本問題」「活用問題」「学年末総合問題」の5段階のステップで学力定着を図っている。 「学習前の私」「学習後の私」で、生徒自身の科学的な概念の変容を認識させ、「活用しよう」で様々な知識をつなげ、科学的な概念を深められるよう配慮されている。(1年P232、P237、P241)様々な学びの場面に「話し合おう」が、設定されており、生徒が対話的に学び合って学習を進められるよう配慮されている。
内容の構成	④単元の内容・構成、系 統性の工夫、カリキュラ ム・マネジメントへの対 応	アイウ	物質、生命、地球、エネルギーの順を基本とし、3 年生は最後に環境が掲載されている。 各学年の巻頭に「探求の進め方」を配置し共通した 構成がなされ、各単元で「疑問から探求してみよう」 で探求的に学習を進められるよう配慮されている。 単元扉の「学んでいくこと」や「これまでの学習」、 既習事項「思い出そう」など、生徒が系統的に学習 を進められるよう配慮されている。
配列への配慮と工夫等	⑤配慮を要する児童生 徒、外国人児童生徒等日 本語指導が必要な児童 生徒、多様性への対応や 配慮	アイウ	UDフォントや大きいサイズの文字の使用、縦方向に 読み進められるレイアウト、中学で学習する漢字に 見開き初出で読み仮名を付けている。 カラーユニバーサルデザインに配慮している。 登場する生徒については、写真・イラストとも、男 女がほぼ均等になるよう配慮され、男女の役割を固 定することなく、男女が協力し合って活動する姿が 表現されている。
	⑥デジタル化、情報化等 への対応や配慮	アイ	学習場面でインターネットが活用できる。
その他	⑦今日的な課題への対 応や配慮等	アイ	1年「大地の躍動と恵み」P190、2年「大気の躍動と恵み」P196、3年「自然災害と私たち」P274と3年間を通して、自然災害と防災・減災について学べるように工夫している。 読み物資料「ハローサイエンス」に中には、関連するSDGsのマークが入っているものがある。(1年P231など)

項目	観点	特徴
内容の扱い 学 習 方 法 (活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 各章のおわりに「Review 振り返ろう」(2年 P107 など)、 単元末には「学習のまとめ」(2年 P124、125 など)があり、 二次元コードから繰り返し学習でき知識や技能の定着を図り やすい。 イ 探究的な学習過程を重視し、課題の「把握、追求、解決」と いう流れが統一され、生徒は見通しを持ち、主体的に学ぶこ とができる。 ウ 単元や章の導入では生徒の疑問を誘うような現象をとらえた 写真・資料が提示されることで主体的に課題を見出し、学習 を進めていくことでその現象の仕組みがわかる構成になって いる。 エ 「探 Q シート」(巻末)を使った話し合いや、「考えてみよう」 (1年 P46 など)「みんなで探 Q クラブ」(1年 P59 など) などの協同的な学習を行う工夫が多く取り入れられている。
内容の構成 配列への配 慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応 ⑤配慮を要する児童生徒、	<ul> <li>ア 章の導入で「つながるまなび」が設定してあり、既習事項を振り返ることができる。</li> <li>イ 「発展」では高校の学習内容が示され中学校との関連づけがされている。(3年 P85 など)ウ 他教科との関連性が示されている。(2年 P239 など)エ 観察実験が3段階に設定されており、柔軟な対応が可能となっている。</li> <li>ア UD フォントを用いたり、行間を広くしたりして読みやすい</li> </ul>
	外国人児童生徒等日本語指 導が必要な児童生徒、多様 性への対応や配慮	工夫がある。 イ 挿絵の人物に多様性を認める工夫がある。 ウ 教科書を多言語で読み上げる副教材がある。
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<ul> <li>ア 計測アプリやシュミレーションソフト (1年 P229 など)、発表スライド (PPT や Google スライド) (1年 P17 など)、CBT 形式の問題 (3年 P42 など) などの充実した ICT 活用事例がある。</li> <li>イ QR コンテンツ計 587 個あり、導入・実験・探求・理解を深めるなど様々な場面で活用できる。</li> <li>ウ 単元末や巻末には、最新の話題や STEAM 教育等、科学技術への興味関心を高める工夫をしている。</li> </ul>
	⑦今日的な課題への対応や 配慮等	ア 「未来志向型の防災・減災教育」の学習を、各学年の自然現象の学習後に配置している。(1年P115など) イ 学習後に社会とのつながりや科学技術の有用性を考える場面を設定している。

## 英語

項目	観点	特徴
内容の扱い 学習方法 (活 動)	①「知識及び技能」を習得する ための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」 を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」 の涵養に向けた工夫	ア 各学年・各学期の到達目標を Can-Do リストとして巻末に示し、明確な到達点に向かって学習できるような工夫がある。 イ 2・3年生では各 Unit の扉に「単元を貫く問い」が設定されている。巻末には問いに対応した書き込みスペースなどがあり、振り返りや自己評価をすることができる。 ウ 協同して問題解決を行う活動やグループでのプレゼンテーションなどを教科書全体に多く用意され、対話的な学びが多くできる工夫がある。
内容の様式	④単元の内容・構成、系統性の 工夫、カリキュラム・マネジメ ントへの対応	ア 「Unit」「Real Life English」「Stage Activity」の中で、知識技能の習得と活用を繰り返しながら思考・判断・表現能力を高める工夫がある。 イ A4版で作られている。視覚資料が多く、デジタルでは対応できない手書きでの書きこみスペースが確保されている。
内容の構成配列への配慮と工夫等	⑤配慮を要する児童生徒、外国 人児童生徒等日本語指導が必 要な児童生徒、多様性への対応 や配慮	ア デジタルコンテンツにおいて、音声の読み上げ、 総ルビ、フォント変更など生徒の実態に応じた カスタマイズが可能となっている。 イ 100 語以上の言語に対応した Google 翻訳が使用 でき、外国につながりのある生徒の学びをサポートする工夫がある。 ウ 映像教材を通じてダイバーシティについて考え る機会が豊富に用意せれている。
その他	⑥デジタル化、情報化等への対 応や配慮	ア 各 Unit に New Word や Key Sentences についてのデジタルクイズがあり、授業での課題が早く終わった生徒が取り組んだり、家庭学習に役立てられたりするような工夫がある。 イ 巻末の Small Talk には、即興のやり取りをシミュレーションできる練習用動画がある。
	⑦今日的な課題への対応や配慮 等	ア 3年間を通して、SDGs の 17 の目標に関連した 題材が多く取り上げられている。 イ 題材・人物の出身地など、世界の国々から設定 されており、外国語や異文化に対する理解を深 められるような工夫がある。

教科 英語	種目 英語	番号 9	略称 開隆堂	書名	Sunshine English Course
-------	-------	------	--------	----	-------------------------

項目	観点	特徴
内容の扱い 学習方法 (活 動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 各単元の前半 (Scenes) において新出表現に関する知識・技能を習得・活用できる構成になっている。 イ 本文読了後にその内容を整理して自分の言葉で再話する活動 (Review & Retell) を通して、学習内容の理解を深めることができる。また、単元末の Actionでは、題材に関連したテーマで行う自己表現活動を通して、学習内容の定着度を確かめることができる。 ウ 学習の見通しを立てたり、自己評価を重ねたりすることを通して、自分の学習を調整しやすい構成になっている。Our Projectでは、発表活動後に自分の発表の振り返りができるよう設定され、主体的に次の活動に向かう態度を養うことができる。 エ 各単元の始めに題材に関連した導入ページが設定され、題材の背景知識を獲得できるので、生徒が興味関心を持って学習に取り組める工夫がされている。
内容の構成 配列への配慮	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア 学習指導要領に照らし合わせ、各学年の到達目標を明確に設定している。 イ 学期末に Our Project という目標を設定し、それに向かって各コーナーでスモールステップを積み重ねていく構成になっている。 ウ Project の目標が可視化され、学習に主体的に取り組むことができる設定になっている。
と工夫等	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	ア 現代の標準的で平易な英語を使い、運用度の高い基本的な表現や語彙・連語が精選されている。 イ 活字は太めで大きく、行間も十分に取られ、視認性に優れている。 ウ 美しい文字が書きやすい4線幅を採用し、「書くこと」へのつまずきを軽減する工夫がなされている。
	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア QR コンテンツ等のデジタルコンテンツをふんだんに 取り入れ、「誰一人取り残さない学び」の実現へ向け、 生徒が自ら学習する方法を選択できる。
その他	⑦今日的な課題への対応や配 慮等	ア 「地球市民」としての豊かな感性を育む題材が用意されている。 イ「日本文化」「キャリア教育」「異文化理解」「スポーツ」 「国際協力」「共生」「物語」「健康」「環境」など幅広いジャンルの題材が用意されている。 ウ SDGs との関連を意識し、教科横断的な学びができるよう題材が配置されている。

教科	英語	種目	英語	番号	15	略称	三省堂	書名	NEW CROWN English Series
----	----	----	----	----	----	----	-----	----	--------------------------

項目	観点		特徴
内容の扱い 学習方法 (活 動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	アイウ	各レッスンに段階性を考慮して配置された文法 事項と文構造は、文脈のある発話の中で提示され、練習活動や言語活動を通して、知識・技能 として習熟できるよう構成されている。 目的や場面、状況に応じて、自分の考えを整理 して伝える活動や、相手とのやり取りしながら、 自分の意見を形成し、伝え合う活動が設定されている。 生徒の同年代の多様なメインキャラクターが設 定されており、彼らの日常生活を題材として取り入れることにより、様々な価値観を受け入れ、 人権意識を高めることができる。
内容の構成 配列への配慮 と工夫等	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	アイウ	学年を通して一貫した流れで指導できるようにすることで、目標や指導の過程が明確に示され、教員の経験に関わらず指導しやすい構成となっている。 他の教科と関連付けられた題材や、軸となる単元(Lesson)と独立した別系統の単元(Take Action!など)の二本立ての構成により、柔軟に教育課程や指導計画を作成することができる。活動ごとに5領域と評価の3観点が明確に紐づけられており、体系的な指導計画とそれに基づいた評価を行いやすい構成になっている。
	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮		読みやすく、書きやすい書体を採用している。 可読性や視認性への配慮がなされている。
その他	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	アイ	教科書のほぼ全てのページに QR コードを設置し、生徒がいつでもどこでも容易にアクセスできる。 授業の予習や復習に役立つ題材の資料動画や本文アニメーション、生徒の個別ニーズに対応する文法の解説動画や発音チェックなど、多岐にわたるコンテンツを用意している。
	⑦今日的な課題への対応や配 慮等	ア	他教科で学んだ内容を、外国語科の学びと結び つけることで、理解を深めたり、広い視野で思 考・判断したり、表現をより豊かなものにする ねらいをもった構成となっている。

教科 英語	種目 英語	番号 17	略称 東書	書名 ONE WORLD English Course
-------	-------	-------	-------	-----------------------------

項目	観点	特徴
内容の扱い 学習方法 (活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア Lesson末では学習した内容に関連して生徒が自身の意見・考えを表現できるようになっており、個のレベルに合わせた設問になっている。 イ Projectでは、これまでに学んだ知識を生かしながら、課題解決的に取り組めるような工夫がある。 ウ 「Can-Do自己チェックリスト」で、年間の学習目標が明示され、到達度が自己評価できるとともに、見通しを持って学習できる工夫がある。 エ Lesson以外でも生徒の興味がわく読み物教材や、多様な題材を用い、生徒の思考の深まりや感性を育てる工夫がある。
内容の構成 配列への配慮 と工夫等	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	<ul> <li>ア Lesson のはじめに「単元目標」が明示され、Lesson 最後の Task で単元目標に関連したやり取りや作文、発表する構成になっている。</li> <li>イ Part 1·2(短めの文)→ Part 3(長めの文)→ Task (技能統合的な活動) → Grammar (文法事項のまとめ)という構成になっており、段階的に英語力の育成を図る工夫がある。</li> </ul>
	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	ア 小学校の外国語の学習で学んだ内容について、 Springboard 1 ~ 6 で振り返りや学びなおしができ、基本的な英語表現の定着が図りやすくなっている。 イ 「車いすを使う少年」「盲導犬」などが登場し、題材内容・表現・登場人物・イラストなど、性別や身体的特徴、文化の多様性についての配慮が見られる。
その他	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア QR コードからアクセスできる「まなびリンク」では、協同学習・個別学習・家庭学習でも活用でき、 生徒の活動のサポートができるような工夫がある。
	⑦今日的な課題への対応や配 慮等	ア 1年生では「外国の学校とのちがい」「SDGs」、2年生では「環境・エネルギー問題」「ジェスチャー・手話」、3年生では「成功を支える人々」を扱い、多様な社会・文化への理解を図るための工夫がある。  イ CUDO (NPO 法人カラーユニバーサル機構)による認証マークを取得している。

項目	観点	特徴
内容の扱い 学習方法 (活 動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 巻末に英語の学習に有用な思考法や思考ツールを具体 例とともに紹介し、教科書の関連ページとリンクさせる ことで目的に応じて活用できるようにしている。 イ Let's Chat では、トピックに関する問いかけで思考を促し、対話をしながら考えを深められる工夫がある。 ウ ストーリーの続きや別エピソードを楽しめる Extra Story と、登場人物になりきってセリフの続きを考える You're the Writer!で思考・判断・表現の力を高める工夫がある。
内容の構成配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア Unit の扉でその Unit で身に付ける力を明示、Goal と you can do it!で自分の到達度を評価でき、次の言語活動への意欲づけが図れ、主体的に学びが進められるようになっている。 イ 複数の帯教材を設け、短時間の帯活動を組み合わせており、柔軟に授業ができるような工夫がある。 ウ 4人の登場人物を中心として、3年間を一続きのストーリーとして構成されている。単元内容としては、身近な題材から徐々に視野を広げ、社会の様々な問題について深めていく工夫がされている。
	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	ア 「World Tour」などの教材で、実在する世界の同世代の子どもたちの発話に触れることができるような工夫がある。 イ 音声、スライドアニメ、実写ドラマ、文法の解説動画など、豊富な音声や動画を活用することで家庭学習や自学自習に使用するための工夫がされている。 ウ 小学校で学習したことが中学校につながるように言語材料が配列されている。
その他	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア アニメーションが豊富に使用してあり、目的・場面・状況に応じて Small Talk や協同学習に生かせることができる。 イ 750点以上のコンテンツ、音声、動画、ピクチャーカードのコンテンツ、即興的に話す活動を支える動的コンテンツ、発展的なリーディング教材が設定されている。
	⑦今日的な課題への対応や配 慮等	ア 1年生で「夏祭り」「初詣」、2年生で「外国旅行」「防災教育」、3年生で「平和学習」「AI」など、身近な題材から徐々に視野を広げ、社会の様々な問題について考えを深められるような工夫がある。 イ 発達段階に合わせ、SDGsの目標に関連する題材が多く設定されている。

教科   英語     種目   英語   番号   61     略称   啓林館   書名   BLUE SKY English (
--

項目	観点	特徴
内容の扱い 学習方法 (活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア Listen & Repeat では、本文の抜粋を通して、発音や強勢、イントネーション、文の区切りを学ぶことができる。新出語句のうち、特に重要な語は太字で示してある。Target のコーナーでは、文構造、文法を説明している。「聞く」「読む」「話す」「書く」活動はスモールステップで設定している。  目的・場面・状況を明示し、生徒はそれらを意識しながら活動できる。何を読み取ったり聞き取ったりするかを考えたり、理解した内容を整理して表現したりする活動や、場面や状況に応じて伝える内容や構成、表現を考えて伝える活動に取り組むことで、思考力・判断力・表現力を養う構成になっている。 ウ 様々な題材を取り扱い、外国語の背景にある文化に対する理解を深める構成になっている。活動の目的・場面・状況を明示し、相手に配慮しながらコミュニケーションを図る態度を養える構成になっている。
内容の構成 配列への配慮 と工夫等	④単元の内容・構成、系統性 の工夫、カリキュラム・マネ ジメントへの対応	ア 小学校の既習事項や、各学年の目標に基づき、 言語材料が配列されている。 イ 国語、社会、理科、美術などとの連携を想定して、教科横断的な学習ができるように構成されている。 ウ 各学年の配当時間数(1年103時間、2年109時間、3年90時間)を余裕の持てる指導ができるようにしている。
と上大等	⑤配慮を要する児童生徒、外 国人児童生徒等日本語指導 が必要な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	ア デジタル教科書や拡大教科書の用意がある。 イ UD フォントを使用している。 ウ 固定観念で性の区別をしない、男女の社会的役 割を平等にするなど、ジェンダーへの配慮があ る。
	⑥デジタル化、情報化等への 対応や配慮	ア QR コンテンツ、デジタル教科書が用意されている。
その他	⑦今日的な課題への対応や配 慮等	ア SDGs を視野に入れ、日本や世界が抱える課題 を正しく知り、それを自分のこととして捉え、 自分ならどうするか、何ができるか考えること ができるよう構成されている。

### 音樂

 教科名 音楽
 種目名
 番号 17
 略称 教出
 書名 中学音楽 音楽のおくりもの中学器楽 音楽のおくりもの

	項目	特 徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を 習得するための工夫 ②「思考力、判断力、 表現力等」を育成する ための工夫 ③「学びに向かう力、 人間性等」の涵養に向 けた工夫	ア 「学習 MAP」によりそれぞれの教材で何を目指していくのかが示され、見通しをもって学習できる工夫がある。また、「学習の進め方」「どんな特徴があるかな?」及び楽典事項が見開きでまとめられており、基礎的・基本的な内容の確認が随時できるよう工夫されている。 イ 教材同士を「比べてみよう」と投げかけることにより、既習事項と関連付けたり思考を広げたりすることでき、学びを深める手立てとなっている。 ウ 歌唱、鑑賞教材では、生徒が進んで学び合うための活動例「Active!」が示されるとともに、楽曲が示されるとともに、楽曲のよさや魅力についてまとめたり、話し合ったりする場面が設定されている。
内容の構成・配列への	<ul><li>④単元の内容・構成、</li><li>系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応</li></ul>	ア 「歌唱」「鑑賞」「創作」が色分けされており、巻頭の学習 MAP で学習の見通しと、育成を目指す資質・能力と教材、領域・分野の相互のつながりが示されている。 イ 小学校・中学校 9 年間を通した題材の系統が示され、発達段階に応じて学びが深まる工夫がある。 ウ 共通事項を軸にした〈学習の進め方〉を振り返って学びの確認ができる。
の配慮と工夫等	⑤配慮を要する児童 生徒、外国人児童生徒 等日本語指導が必要 な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	イ SDG s と関連する教材を適宜配置し、どのような取り組みができ
その	⑥デジタル化、情報化 等への対応や配慮	<ul><li>ア 見ること、聴くこと、書くことに分類された「まなびリンク」の活用により、主体的な学習への意欲が高まるとともに、ICTを活用した個別最適な学習への手立てがある。</li><li>イ デジタル教材が用意され教科書の拡大、ペンやマーカーでの書き込みができるようになっている。</li></ul>
の他	⑦今日的な課題への対 応や配慮等	<ul> <li>ア 音楽を愛好する心情を育むきっかけとして巻頭ページには多様な音楽的見方・考え方にふれられるような音楽家からのメッセージで始まっている。</li> <li>イ 器楽の教科書では SDGs として人と社会を未来へつなぐよう楽器の背景にある風土や文化を考えるきっかけになっている。</li> </ul>

 教科名 音楽
 種目名

 一般・器楽合奏
 番号 27
 略称 教芸
 書名 中学生の音楽 中学生の器楽

	項目		特 徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を 習得するための工夫 ②「思考力、判断力、 表現力等」を育成する ための工夫 ③「学びに向かう力、 人間性等」の涵養に向 けた工夫	アイウ	「学級目標」「活動文」「音楽を形づくっている要素」に加え、「楽曲の紹介文」と「考えたいポイント」が一目で分かるように示されており、三つの資質・能力の育成につながるよう構成されている。(全体)「学びのコンパス」(1年 P19 他 7 教材、2,3 年上 P16 他 7 教材)ではワークシートの利用により、主体的・対話的で深い学びにつなげる手立てが示されている。 1年「音や音楽の果たす役割」(P68) 2,3 年上「人と人とをつなぐ音楽」(P91)では、生活や文化との関わりを意識するしかけがある。また2,3 年下「仕事と音楽」(P66)では SDGs の視点でも音や音楽の意味や価値づけにつながるページになっている。
内容の構成・配列への配	④単元の内容・構成、 系統性の工夫、カリキュラム・マネジメント への対応	アイウ	「歌唱」「創作」「鑑賞」が色分けされ、各ページにつながっている。また、どの教材で何を学習していくのか教材と学習内容の関連が色の濃度で示されている。(1 年、2,3 年上・下、器楽各 P8-9) 「My Melody」「My Voice」「Let's Create」では発達段階に応じた系統性になっており、難易度を高めた配列になっている。(2 年、2,3 年上・下各教科書) 器楽教科書でも歌唱や鑑賞の教材と同じページ構成で、学びに向かう力や幅広い価値観を養うことができるように工夫されている。(全体)
1 慮と工夫等	⑤配慮を要する児童 生徒、外国人児童生徒 等日本語指導が必要 な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	アイ	UD フォントや識別しやすい色の組み合わせを選び、可読性、可視性を高めている。(全体) レイアウトや囲みの形を工夫することで視認性の高い紙面構成になっている。(全体)
その	⑥デジタル化、情報化 等への対応や配慮	アイ	二次元コードには巻頭のメッセージ動画や歌唱教材のパート別音源とカラピアノ、また教科書と同じ体裁の創作ツールなど多くのデジタルコンテンツが用意されており、個別最適な学びや共同的な学びの実現に向けた手立てがある。(各教材)音楽に関する知的財産権については漫画を交えて親しみやすく解説されている。(1年 P66-67、2,3 年下 P64-65)
他	⑦今日的な課題への対 応や配慮等	アイ	オペラや歌舞伎等、個々の特徴を捉えたうえで複数の音楽を比較したり関連付けたりすることで、生涯にわたり音楽文化に親しむきっかけづくりになっている。(2,3 年上 P61) 巻頭ページでは、音楽や芸術また自身の関わりについてのメッセージがあり、学びに向かう力や音楽的な見方・考え方の育成のヒントになっている。(各教科書)

## 美術

美術	美術	9	開隆堂	<b>姜</b> 術
大四	大 Ni	J		1 天的

項目	観点	説明
内容の扱い学習方法(活動)	①「知識及び技能」 を習得するための 工夫	ア 各題材の学習で必要な知識及び技能が、図鑑や「美術の用語」で提示されている。(1年P29、2・3年P32、23年P90等) イ 各巻末の「学びの資料」に題材横断的な知識及び技能が系統的に整理されて示され、多様な題材に効率よく対応できるよう構成されている。(1年P54-71.23年94-123) ウ 表現方法を考える上で、実際の作品の詳細なタッチやマチエール(絵肌)が表示され、全体と部分の比較が掲載されている。(23年P26-31、23年P45、23年P55等)
	②「思考力、判断 力、表現力等」を 育成するための工 夫	ア 作家の作品とその作品のスタイルからイメージを受けたと思われる 生徒作品や、歴史的に価値の高い作品と現代作家が作る作品との比較 等、表現を考える際に参考となる作品の配置が工夫されている。(23年 P18-21、23年P22-25) イ、掲載作品と合わせて「作者のことば」やアイディア、スケッチ等を掲 載し、発想や構想、表現方法の手がかりとなるよう配慮されている。(1年 P10-12、23年 50-51、23年 P54等)
	③「学びに向かう 力、人間性等」の 涵養に向けた工夫	ア 表紙に特殊加工を施し、手に取った生徒が視覚だけでなく、指先で触りながら作品の質感を想像できるようにすることで、美術の学習により興味・関心を持つことができるよう工夫されている。(1 年表紙、2、3 年表紙) イ 見たい部分をズームアップした構成が随所に取り上げられている。(1 年 P52-53、2 3 年 P45、2 3 年 P91 等) ウ 各学習領域の最初に扉のページが設けられ、それぞれの学習に向かう姿勢を考えることができるよう工夫されている。(1 年 P8-9、1 年 34-35、2 3 年 P8-9)
内容の構成配列	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 3年間で使用する教科書が2冊にまとめられ資料的な扱い方や生徒が準備する際にもコンパクトに仕上げられている。 イ 美術1の巻頭に「図画工作から美術へ」のページが設定され、中学校の美術の学習の全体構成を俯瞰し、見通しを持って視覚的に捉えることができるよう構成されている。(1年 P2-5)

への配慮と工夫等	⑤配慮を要する児 童生徒、外国人児 童生徒等日本語指 導が必要な児童生 徒、多様性への対 応や配慮	ア 多くの生徒作品と合わせて「作者のことば」も掲示され、様々な個性や特性のあることを学べるよう工夫されている。(1年P10-12、1年P38、23年P15等)。 イ 福祉と美術との関わりを学ぶシーンが設定されており、インクルーシブ教育に対応できるよう配慮されている。(23年P80-8、23年P111)
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 映像メディアの特徴を生かした表現や鑑賞の学習に取り組む題材が 設定されている。(1年 P36-39、23年 P68-71、23年 P72-75) イ 各題材に2次元コードが掲載され、インターネットを通じて、様々な コンテンツ(参考作品例、ワークシート、導入動画等)を活用できるよう 工夫されている。(1年 P10、1年 P14、23年 P48-51等)
	⑦今日的な課題へ の対応や配慮等	ア 環境教育、平和教育、ふるさとキャリア教育等複合的に考えることが可能な作品を取り上げ、生徒が多面的に考えられるよう工夫されている。(1年P58-59、23年P110-117、23年P120-127等) イ コラムにSDGsマークが付いており、題材内容と関わる造形的な取り組みや作品が紹介され、美術の学習とSDGsを具体的に関連付けて学ぶことができるよう配慮されている。(1年P25、1年P53、23年P93等) ウ 中学生が身近に感じる美術や美術文化が、現代美術で注目されている新たな美術活動や造形活動を展開する作家やデザイナーの顔写真とともに取り上げられ、これからの社会と美術と自分自身との関わりについて考えられるよう工夫されている。(1年P8-9、23年P2-5、23年120-123等)

教科書14・15ページ「その人らしさがたいせつ」に掲載されている特徴の部分の背景色を変えています。

 美術
 38
 光村
 美術

項目	観点	説明
内容の扱い学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア すべての題材で、鑑賞の手がかりとなる問いかけがあり、 <mark>形や色彩、材料について着目すべき「POINT」が示されている。</mark> (1年P 16.1年34から35.23年P8等) イ 技法の解説や制作過程の動画を2次元コードで読み取って見られるようにし、生徒の表現活動を支援できるよう工夫されている、(1年P28、1年P56-57、23年P94-95等) ウ 材料の性質や用具の操作等、創作に関する知識が得られるよう、別冊として資料が設定されている。
	②「思考力、判断 力、表現力等」を 育成するための工 夫	ア 1年の「発想のしかたはさまざま」や資料「発想・構想のために」で、多様な発想の仕方が紹介されている。(1年 P14-15、1年資料 P24-25) イ 表現と鑑賞の相互の関係が意識できるようにアイコンで示され、1つの題材の中で一体的に学べるよう構成されている。(1年 P22-23、1年 P28-29、23年 P20-21等) ウ 発送や構想の手がかりとなるよう、多くの生徒作品を掲載するとともに、「作者の言葉」やアイデアスケッチ等も豊富に掲載されている。(1年 P23、1年 24、23年 P18等)。
	③「学びに向かう 力、人間性等」の 涵養に向けた工夫	ア 「みんなの工夫」では、生徒の思考錯誤の様子や制作過程を詳しく示すことで、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。(1年P26、1年P54、23年P56-57等) イ 見開きで作品を大きく掲載し、鑑賞の際、細部の表現や色合いを感じられるよう工夫されている。(1年P20-21、23年P12-13、23年P32から33等) ウ 日本美術の鑑賞ページを和紙のような風合いのある用紙とすることで、興味・関心を高めることができるよう工夫されている。(23年B27-42)
内容の構成配列	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	択できるよう 配慮されている。
7への配慮と工夫等	⑤配慮を要する児 童生徒、外国人児 童生徒等日本語指 導が必要な児童生 徒、多様性への対 応や配慮	ア 世界の様々な国や地域の作品が取り上げられるとともに、写真に写る 生徒や登場するキャラクターに性別の偏りがないよう配慮されている。 (1年P15、1年P46-47、23年P79等) イ いじめ防止や差別撤廃等、人権をテーマにした作品が積極的に掲載さ れている。(23年P73、23年P75、23年P76等)

その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 「体感ミュージアム」として設定されている題材では、2 次元コードにより書き込みツールや動画、360 度写真等の資料が豊富に設定されている。(P20-21、1年 P36-43、2 3年 P12-15等) イ タブレット端末を使った制作過程や作品が掲載されるとともに、1年資料で端末の活用方法が解説されている。(1年 P54、1年資料 P 20-23、2 3年 P77等)。
	⑦今日的な課題へ の対応や配慮等	ア 「防災のデザイン」という題材が設けられ、デザインが防災に果たす役割について考えられるよう工夫されている。(23年P82-83) イ 生徒が職業や勤労について考えることができるよう、身近な製品を鑑賞する題材が設定されたり、作家やデザイナー等、社会で活躍するつくり手の活動や言葉が示されたりしている。(1年P19、23年59、23年P68-69等) ウ SDGs との関連を意識して学べるよう、関連する題材のページ下に17の目標番号が示されている。(1年P32、23年P46、23年P66等)

教科書22・23ページ「その人らしさを捉える」に掲載されている特徴の部分の背景色を変えています。

美術	美術	116	日文	美術
----	----	-----	----	----

項目	観点	説明
内容の扱い学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 全ての題材で、着目させたい造形的な視点や考えさせたい効果等が吹き出しで提示されている。 (1年P13、2・3年上P11、2・3年下P15等) イ 折って鑑賞することで見え方が変わる「屛風」、巧みな彫りや摺りが味わえる「高精細印刷の浮世絵」、細かい描写が実感できる「原寸大図版」等、知識を実感的に理解できるよう工夫されている。 (1年P24-29、2・3年上P26-27、2・3年下P25等) ウ 材料や用具の取り扱い等について「学びを支える資料」として各巻末にまとめられ写真やイラスト、二次元コードによる動画で説明されている(1年P62-69、2・3年上P57、2・3年下P52等)
	②「思考力、判断 力、表現力等」を 育成するための工 夫	ア 表現と鑑賞を関連して考えられるよう、各題材に「鑑賞の入り口」と「造形的な視点」が示されている。(1年P12-13、2・3年上P12-13、2・3年下P14-15等)  イ 搭載されている生徒作品の多くに「作者の言葉」があり、同じ中学生がどのように発想し、制作したのかがわかるように工夫されている。(1年P23、2・3年上P21、2・3年下P47等) ウ 発想や構想の手立てとして、きっかけから発想、表現へつながるプロセスの紹介や表現する際のテクニックの紹介等が搭載されている。(1年P58-61、2・3年上P56、2・3年下P54-55等)
	③「学びに向かう 力、人間性等」の 涵養に向けた工夫	ア 各巻のオリエンテーションページにおいて、どんなことを学ぶのかわかりやすい言葉と図版で示し、中学校美術の学びに向かう心や力を養うことができるよう工夫されている。(1年 P2-7、2・3年上 P2-7、2・3年下 P2-7) イ 美術での学びをいかしている人の言葉やアーティストの考え方が掲載され、多様な考え方を手がかりに考えることを促すよう工夫されている。(1年 P58-59、2・3年上 P50-51、2・3年下 P44-45等)
内容の構成配列へ	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	中学校の3年間の発達を考慮した題材配列の工夫が見られる。

の配慮と工夫等	⑤配慮を要する児 童生徒、外国人児 童生徒等日本語指 導が必要な児童生 徒、多様性への対 応や配慮	ア外国の生徒作品やアール・ブリュットの作品等が取り上げられ、多様性を尊重しながら学ぶことができるよう工夫されている。(1年 P18、2・3年下 P12、2・3年下 P50・51等)イ平和や人権に関わる作家、作品やポスターが取り上げられている。(2・3年上 P42、2・3年上 P59、2・3年下 P24・29等)
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 映像作品やトリックを使った作品等、デジタル機器を使用した作品制作の例が ICT のマークを提示して複数取り上げられ、科学技術の活用や今後の可能性に触れることができるよう工夫されている。(1年 P39、2・3年下 P19、2・3下 P42-43等) イ 発想・構想の手立て、作品完了までのプロセスやプログラミング的思考に関連する内容が示されている。(1年 P58-59、2・3年上 P42-43、2・3年下 P52-53等)
	⑦今日的な課題へ の対応や配慮等	ア 商品の魅力を伝えるパッケージデザインを考える当、生活と結びつく題材が掲載されている。(1年 P38-39、2・3年上 P46-47、2・3年下 P40-43等)  イ 日本文化が昔から現代にいたるまで紹介されており、作品の魅力はもとよりそれを生み出す巧みな技術にも触れられ、表現する職業や企画を考える仕事等幅広い知見につながるよう工夫されている。(1年 P24-31、2・3年上 P22-35、2・3年下 P32-33等)  ウ SDGs 等生徒が現代的な諸問題について美術との関わりを通して考えを深められるよう、題材が工夫されている。(1年 P20-21、2・3年上 P46-47、2・3年下 P46-47等)

教科書18・19ページ「人間っておもしろい」に掲載されている特徴の部分の背景色を変えています。

### 技術

	項目	特 徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 「考えてみようやってみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」などの活動場面を多く取り上げ、主体的に調べたり共同して比較・検討したりするための発問を設けるなど、深い学びの実現のための工夫がされている。(P29、31、33など) イ 生徒の問題解決に導くために「問題の発見・課題の設定」「設計・計画」「制作・製作・育成」「評価・改善・修正」の流れを統一的に示している。(P20~21、58~77など) ウ ガイダンスにおいて、「技術のめがね」「最適化の窓」で社会における技術の見方考え方に気づき、働かせるようになっている。(P18~19)
内容の構成・配列への	④単元の内容・構成、系 統性の工夫、カリキュラ ム・マネジメントへの対 応	ア 「リンク」マークを用いて、教科間、学校種間の連携が高められるように工夫されている。 イ 学習指導要領の内容をふまえて、学習が系統的に進められるよう、基礎・基本から応用・発展へと段階をふんで記述されている。(P72~77、120~125 など) ウ 生徒の発達段階にあわせて、問題解決に取り組めるよう身の回りの問題解決から社会の問題解決まで幅広く収載されている。(P72~77、120~125 など)
の配慮と工夫等	⑤配慮を要する児童生 徒、外国人児童生徒等日 本語指導が必要な児童生 徒、多様性への対応や配 慮	ア 「目標」「始めの活動」「学習課題」「まとめの活動」などがすべて同じ位置に配置されている。特別支援教育の観点から、内容及びデザインについて検討され配慮されている。(P28、29 など)イ デジタル教科書では、機能拡張として「Google 翻訳」を追加することで、多言語の生徒への対応ができるように配慮されている。(全ページ)
	⑥デジタル化、情報化等 への対応や配慮	ア 質の高い動画や、シミュレーションなどを無料で利用できる QR コンテンツが用意されており、専門ではない内容でも安心して 師範し、指導できるよう工夫されている。(P4~5 など) イ 写真やイラストなどの資料を効果的かつ豊富に用いているほか、QR コンテンツも充実し、学習への興味・関心を高めるよう 工夫されている。(P96~97、114~117 など) ウ QR コンテンツとして「他教科」や「小学校」の関連する内容の 教科書紙面を見られることができるように工夫されている。(P28、34、63 など)
その他	⑦今日的な課題への対応 や配慮等	ア 自らの問題として主体的に考え、判断するといった学習活動を 豊富に取り上げ、実践的・体験的な活動を通して、持続可能な 社会を目指しSDGsの達成に寄与する態度が養えるように工夫 されている。(P58~77、106~125など) イ 高校情報につながる、プログラミングの基礎・基本や情報モラ ル・プログラミングの言語の紹介、AIやデータサイエンスな どの最新技術を扱っている。(P212~217、222~223など) ウ 「技術の匠」では、製品の開発者や技術者など技術分野の学習 に関係の深い仕事に就いている人たちからのメッセージを紹介 し、生徒の勤労観・職業観を育むことができるように工夫され ている。(P81、86、87など)

教科 技術・家庭   種目 技術分野   番号 6   略称 教図   書名 新	技術・豕廷	技術分對
--	-------	------

	項目	特 徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 実践的・体験的な学習活動を通して、生活をよりよくしようとする意欲を引き出し、自ら問題を見いだし、課題を設定して解決を図る力を身につけることができるように、工夫されている。 (P74~75、148~149 など) イ 実習を行う際には、科学的な原理・法則などをふまえて計画・設計し、身体的な技能などを用いて具体的なものが創造できるようになっている。(P50~73、128~147 など) ウ 各内容の最後では、社会や環境と技術とのかかわりについての理解に基づき、技術の在り方や活用の仕方を客観的に判断。評価し、主体的に活用しようとする態度が育めるようになっている。(P100~101、150~157 など)
内容の構成・配列への	④単元の内容・構成、系 統性の工夫、カリキュラ ム・マネジメントへの対 応	る。(P100~101、152~153 など)  ア 小学校や他教科とのつながりを各内容のとびらページにて示している。また、文中で関連ある箇所には、マークが示されており、学年・教科横断的なカリキュラムが立てやすいように工夫されている。(P27、107、159 など)  イ 各内容の系統性は基礎・基本の習得から応用・発展的な学習へと系統的に展開されている。(全体) ウ 各内容の実習例では複数の題材を示しており、地域や学校事情等に適合した使い方ができる。(P50~73、128~148 など)
の配慮と工夫等	⑤配慮を要する児童生 徒、外国人児童生徒等日 本語指導が必要な児童生 徒、多様性への対応や配 慮	<ul> <li>ア 文章は、特別支援教育の観点から、単語が途中で改行されないようになっており、単語として認識しやすくなっている。(全体)</li> <li>イ 各内容は「基本→問題解決→社会へ」という基本構成になっている。また、各ページは「学習の目標、学習の課題→学習内容→ふり返り」という流れで構成されている。(全体)</li> </ul>
	⑥デジタル化、情報化等 への対応や配慮	ア 情報の技術の実習例において、AIを活用するものが数点取り上 げられている。(P260、275) イ 各内容の適切な箇所にQRコードを記載することによって、個 別最適な学びが実現できるように配慮されている。(全体)
その他	⑦今日的な課題への対応 や配慮等	ア 環境・共生に関する内容は、ガイダンスをはじめ、個々の学習 場面や各内容の最後で取り扱い、学習活動や生活の中で環境や 共生を大切にする実践的な態度が身につくように配慮されている。(全体) イ 写真や図版はわかりやすく、必要な箇所では、生徒が自分で作業しているように見えるアングルで撮影した写真が使用されて いるなど、理解を促すための工夫がなされている。(P77 など)ウ キャラクターは多様性にも配慮され、生徒が関心・意欲をもって学習を進めるのに効果的である。(全体)

	 項 目	特 徴			
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 「見つける・学ぶ・ふり返る」が基本配列になっており、「見つける」で学習意欲を喚起、「学ぶ」で自主的に学習、「ふり返る」で学習理解の確認ができる。(P16~17、72~73 など) イ 設計・計画に必要な要素を多数掲載し、生徒自らの問題解決を実現できる。生徒自身の設計や計画を記入できる「設計・計画シート」「計画・育成シート」が切り取り式シートで用意されている。(P53、94~95、152~153 など) ウ 各編に「やってみよう」として、自ら学ぶ、グループで学ぶ問いかけが設けられている。(P30、60、83 など)			
内容の構成・配列への配	④単元の内容・構成、系 統性の工夫、カリキュラ ム・マネジメントへの対 応	<ul> <li>ア 各章ごとの資料に、他教科との学習の関連を表すマークを示して、教科間の学習の連携が取れるように配慮されている。(P72、114、116 など)</li> <li>イ 本教科書に発展的な学習の内容はなく、基礎的・基本的な学習内容で構成されている。(全体)</li> <li>ウ 1章では簡単な実習題材、2章では設計・計画をしやすい実習題材を複数載せることで学校ごとに実習題材の選択ができるように配慮されている。(全体)</li> </ul>			
配慮と工夫等	⑤配慮を要する児童生 徒、外国人児童生徒等日 本語指導が必要な児童生 徒、多様性への対応や配 慮	<ul> <li>ア 紙面の&lt;見つける→学ぶ→ふり返る&gt;は、生徒が学習の流れを 追えるよう工夫されている。(P18~33 など)</li> <li>イ 車椅子が必要な生徒が作業をしやすくなる環境づくりについて 取り上げ、多様な生徒が協力して学ぶことができるよう工夫さ れている。(P6)</li> </ul>			
	⑥デジタル化、情報化等 への対応や配慮	<ul> <li>ア QRコードを実習題材や別冊「スキルアシスト」の各ページに付することで、動画など閲覧して学習を深め、理解をより確かなものにする工夫がされている。(全体)</li> <li>イ 知的財産を創造・保護・活用していこうとする態度や、使用者・生産者の安全に配慮して設計・製作したりするなど、倫理観の育成を重視している。また、QRコンテンツで「情報モラルチェック」を用意し情報モラルについて確認できる。(P186~187)</li> </ul>			
その他	⑦今日的な課題への対応 や配慮等	<ul> <li>芳続可能な開発目標(SDGs)の17の目標のマークを関連する学習内容につけ、日本や世界で起こる諸問題を自ら関わる課題としてとらえられるようにしている。(P3、67、107など)</li> <li>「技ビト」・「スゴ技」のコラムや「夢をかなえる技術」で、学んだ技術が社会にどういかされているかを取り上げて、資質・能力を働かせてよりよい社会を創るという目標を持てるように配慮されている。(P246~253など)</li> <li>「先輩からのメッセージ」のページを設けて、高等学校で専門的な学習に取り組む先輩を紹介し、生徒に進路について考えさせることができるように配慮されている。(P250~251)</li> </ul>			

# 家庭

教科 技術家庭科	種目家庭科	番号2	略称	東書	書名	新編新しい	技術・	家庭	家庭分野
----------	-------	-----	----	----	----	-------	-----	----	------

項目	観点	特徴
学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<ul> <li>ア 基礎的な技能を「いつも確かめよう」にまとめたり、QRコンテンツを充実させたりし、技能を確実に習得できるようにしている。p64-73,79,134-137など</li> <li>イ 調理実習、布を用いた製作、幼児との触れ合い体験では実習の手順や流れを示し、見通しをもって実習に取り組むことができるように工夫されている。p62-63,143,244-245などウ 各節の始めには「目標」と「始めの活動」「学習課題」を挙げ、</li> </ul>
	③「学びに向かう力、人 間性等」の涵養に向けた 工夫	見通しと課題意識をもって学習を進めることができるとともに、 各節の最後に「生活に生かそう」「まとめよう」を設け、自分な りに学びを見つめ返せるように工夫されている。 p30-31,118-119,168-171 など
配列への配慮と工夫等内容の構成	④単元の内容・構成、系 統性の工夫、カリキュラ ム・マネジメントへの対 応	ア 家庭分野の学習内容が1年、2年、3年で学習するのに適した順序になっている。 イ ガイダンスの【自分の生活チェック】では数字のチェックだけではなく、グラフ化することで、1年時と3年時の比較・成長が可視化できる。p16~17 ウ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、各学校の実態に応じて選択して履修できるよう、全ての学習内容の最後にまとめられている。p271-281
	⑤配慮を要する児童生 徒、外国人児童生徒等日 本語指導が必要な児童 生徒、多様性への対応や 配慮	ア ふり仮名は丸ゴシック体を用い、書体はすべて UD 書体を使用している。 イ 幼児から高齢者まで世代の異なる人、障がいのある人、ない人、さまざまな国籍の人が登場し、周囲の人との共生の大切さを理解できるように工夫されている。p10-25,178-181,218-270 など
その他	⑥デジタル化、情報化等 への対応や配慮	T インターネットを活用して効果的に学習を進めるために $QR$ コンテンツを用意し、該当箇所に $D$ マークを付している。 $QR$ コンテンツは $Web$ ページから無料配信され、授業や家庭での実践で活用できるように工夫されている。 $p4$ -5,74,125,174-175 など
	⑦今日的な課題への対応 や配慮等	ア すべての学習で SDGs の視点から持続可能な社会の構築に寄与する態度を養い、学習や生活を工夫できるよう配慮されている。p104-109,162-163,186-187 など 「プロに聞く!」では栄養士、建築士、保育士など家庭分野の学習内容に関係の深い仕事についている人たちからのメッセージを紹介し、生徒の勤労観・職業観を育むことができるように工夫されている。p37,51,63 など

技術・家庭 種目家庭科 番号 6 略称 教図 書名 技術・家庭 家庭分野

項目	観点	特徴
学習方法(	①「知識及び技能」を習得 するための工夫	ア 小題ごとに「めあて」「学ぶ」が示され、「ふり返る」で知識および技能が身についたか、確認できる構成になっている。 イ QR コンテンツを利用して栄養計算ソフトが使える。
に(活動)	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工 夫	ア 献立作りでは、巻末の食品シール(写真)を貼って考えられるように工夫されている。(P93) イ 各節に「考えてみよう」「話し合ってみよう」など自分の考えを問う場があり、思考力等を養う工夫がされている。
	③「学びに向かう力、人間性 等」の涵養に向けた工夫	ア 小学校で学習した内容も QR コンテンツを利用して動画で確認できるようになっている。(P173) イ 章ごとに学習したことをもとに自分の課題を設定し、実践するためのページがあり、統一した記録レポートには、ふり返って改善が必要か考えるようになっている。(P32、P66、P78 など)
配列への配慮と工夫等内容の構成	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 学習指導要領の順に単元が配置され、巻末の生活の課題と 実践では、「改善する」→「次の課題へ」となっており、考察 までできるように配慮されている。 イ 他教科や小学校などの学習との関連がわかるよう「関連」 マークが掲載されている。(P14、P102、P176 など) ウ 「ガイダンス」では、小学校とのつながりと共に、これか らの学習に見通しを持てるような内容が工夫されている。
等 	⑤配慮を要する児童生徒、 外国人児童生徒等日本語指 導が必要な児童生徒、多様 性への対応や配慮	ア 「発展」として、世界の衣食住の特徴や伝統が掲載されている。(口絵) イ 女子の制服でスラックス姿が掲載されている。(P152) ウ 中学校以降に学ぶ漢字にはルビがつけられており、読みやすく、理解しやすくなっている。
その他	⑥デジタル化、情報化等へ の対応や配慮	ア QR コンテンツを利用して動画や資料などがみられるようになっており、各生徒が基礎的な知識や技能の習得に役立てることができる。(P43、P75、P159、など) イ 消費生活では、インターネットによるトラブルが扱われている。(P241)
	⑦今日的な課題への対応や 配慮等	ア 単元の内容に合わせて SDGs の 17 の目標マークが示され、 生活との関わりに気づけるよう、工夫されている。 イ 消費者トラブルの解決方法や相談先のサイトが紹介されて おり、消費者が行動する意味について理解できるように工夫 されている。(P244、P245)

項目	観点	特徴
学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得 するための工夫	ア 調理や製作の手順がわかりやすく写真で示されているだけでなく、QR コンテンツがあり、動画で手順などを確かめることができる。 イ 幼児の生活では見開きページごとに QR コンテンツがあり、幼児の生活の様子を動画視聴できるよう工夫されている。
	②「思考力、判断力、表現 力等」を育成するための工 夫	ア 節の初めに「身近なことから考えられる課題」が設定されており、今までに経験したことから考えられるように工夫されている。(P18、90、184、など) イ 「考えてみよう」「話し合ってみよう」等(P267、269) は班活動で話し合いやすい内容になっている。
	③「学びに向かう力、人間性 等」の涵養に向けた工夫	ア 内容 A~C の始めに「自分の興味・関心を大切に」「学習する内容」「小学校での学び」が示され、学習の見通しが持てるよう工夫されている。(P16、P88、P182、P262) イ 「生活の実践と課題」では、実践例が掲載されており、自分の興味・関心に応じて取り組むことができるよう工夫されている。
配列への配慮と	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 「ガイダンス」になっており、3年間の学びに見通しが持てるようになっている。(P2~P15) イ 小学校や他教科との関連はマークで示され、「発展」では、実験的な内容や今後役立つ情報などが掲載されている。
配慮と工夫等	⑤配慮を要する児童生徒、 外国人児童生徒等日本語指 導が必要な児童生徒、多様 性への対応や配慮	ア 様々な人々とのつながり、多様性について掲載されている。(P80、P81、P185など) イ 様々な人々の写真が掲載され、多様性を認め合いながら 共生する視点に気づくよう工夫されている。
その他	⑥デジタル化、情報化等へ の対応や配慮	ア QR コンテンツを利用して、動画を視聴することで教科書の内容をについて理解を深めるよう、工夫されている。 イ 消費者被害で、情報化社会の問題点について学ぶことができるよう工夫されている。(P278)
	⑦今日的な課題への対応や 配慮等	ア 内容ごとに「持続可能な○○生活」の単元があり、家庭 分野と SDGs とのつながりを示している。 イ 防災対策について、発展的な資料が多く掲載され、「考え てみよう」で話し合うことができるように工夫されている。 (P248~P255)

#### 保健体育

項目	観点	特徴
内容の扱い 学 習 方 法 (活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 本時学習の学習における専門用語や重要語句がキーワードで示されて、章末には解説の QR コンテンツがある。(P26 54 65等)  イ 「見つける」には、自己の内面をふり返ったり、資料から読み取ったり、揺さぶりをかけたりするなど、既習内容を想起するように仕掛けてある。 ウ 小見出しごとに「問い」と資料が設定されており、思考・判断・表現を行いやすいように示されている。  エ 主体的な学びを促す手法として「活用する」→「広げる」があり、習得した知識・技能を活用してより深く考えることのできる工夫がなされている。さらに話し合いの場面を設定し、習得した資質・能力を自分事にするよう示されている。 オ 各章末には発展的な内容などが示されている。 カ 巻末には発展的な内容などが示されている。 カ 巻末には章末問題の QR コンテンツが用意され、繰り返し知識の習得が確認できるようにしてある。(P26 54等)
内容の様件	④単元の内容・構成、 系統性の工夫、カリキュラム・マネジメント への対応	<ul> <li>ア 見開き2ページで1時間(本時)の「見つける」→「学習課題」→「課題の解決」の学習の流れが示されている。(全体)</li> <li>イ 各学年の学習内容が明確に示され配列してある。保健編、体育編の順で配列されている。</li> <li>ウ 章はじめに、「小学校で学習したこと」「高校で学習すること」と「この章で学習すること」が系統的に示されている。</li> <li>エ 本教科書の関連ページを示したり、他教科の教科書の関連ページをQRコンテンツで見たりすることができるようになっている。</li> </ul>
内容の構成配列への配慮と工夫等	⑤配慮を要する児童 生徒、外国人児童生徒 等日本語指導が必要 な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	ア 読みやすいユニバーサルデザイン(UD)フォントを使用し可読性を高めている。本文は明朝体のUDフォント、文中キーワードはゴシック体のUDフォントを使用している。中学校以降学習する常用漢字にはふりがながある。 イ 本文は、位置を固定した定型デザインで統一されている。ページ左に本文、右に資料と区別してある。 学習活動については背面色で区別してある。 ウ グラフは、色を変えるとともに線種も変え、引き出し線をつけて説明が付記してある。 エ SOGIE(生の要素そのもの)の考えに基づいて、多数派少数派と区別することなく表現されている。
	⑥デジタル化、情報化 等への対応や配慮	ア 指導者用デジタルブック、学習者用デジタル教科書があり、教科書にある スイッチから QR コンテンツ(約 150 点)にアクセスすることができる。 イ 学習者用デジタル教科書には、文字読み上げ機能や絵ルビ変更や分かち書 き変更機能がある。また、文字色、大きさ、背景色の変更も可能。 ウ Google 翻訳を使用して、133 言語に対応している。
その他	⑦今日的な課題への 対応や配慮等	ア 口絵には、SDG s、テクノロジーの進化、情報の活用と保健体育との関連が示されている。(口絵) イ キャリア教育の推進では、章扉や章末資料等に保健体育関連職業人の話をのせ、将来の社会的職業的自立に目が向くような仕掛けがある。(P13 27 55 62~63 等) ウ 自然災害の防止は、大雨災害が多発する夏前に学習する配列がなされている。(P76~、P86~) エ SDG s について考えようで、各章末に QR コンテンツが設けられている。(P26 54 65 88 等)

教科 保健体育	種目 保健体育	番号 4	略称 大日本	書名中学校	保健体育
---------	---------	------	--------	-------	------

項目	観点	特徴
内容の扱い 学 習 方 法 (活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<ul> <li>ア 本時学習の学習における専門用語や重要語句やキーワードが学習の振り返りで設定されいる。また、章末の「学習のまとめ」で再確認できるように仕組まれている。(P17、19、…28等)</li> <li>イ 見開きで、前ページには本文、後ページには資料となっていて、知識を活用しての話し合いや書き出しができるように仕組まれている。トピックスやミニ知識もあり、学習関連情報や話題が示されている。</li> <li>ウ 学習の中心となる活動が、「話し合ってみよう」「やってみよう」「調べてみよう」と示されて、協同的な学習活動が生じるように配慮されている。(P5、7、9、17等)</li> <li>エ 「活用して深めよう」に、学習したことの整理・定着させ、生活に活かす問いが示されている。</li> <li>オ 章末資料として、関連事項が示されていたり、「学びを活かそう」で学習の活用について考える仕掛けがある。(P13、27、52等)</li> </ul>
内容の構成 配列への配 慮と工夫等	④単元の内容・構成、 系統性の工夫、カリキュラム・マネジメント への対応	<ul> <li>ア 見開き2ページで1時間(本時)の「学習のねらい」→「つかもう」→「話し合ってみよう・やってみよう・調べてみよう」→「活用して深めよう」の学習の流れが示されている。</li> <li>イ 各学年の学習内容が明確に示され配列してある。体育編、保健編の順で配列されている。</li> <li>ウ 章はじめに、「小学校で学習したこと」→「中学校で学習すること」→「高校で学習すること」と系統的に示され校種間の学習がスムーズにつながる工夫がされている。(P15、29、55等)</li> <li>エ 「リンク」のマークで、本教科書だけでなく教科横断的な学習に発展するよう他教科とのつながりについても示されている。(P6、18、20、22等)</li> </ul>
	⑤配慮を要する児童 生徒、外国人児童生徒 等日本語指導が必要 な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	ア 読みやすいユニバーサルデザイン(UD)フォントを使用し可読性を高めている。UD 新ゴッシク体を使用している。 イ どの内容も、位置を固定した定型デザインで統一されている。本文と資料がはっきりと分かれ、集中しやすくなっている。 ウ 単語の途中で改行せず、読みやすい位置での改行になっている。 エ 色覚の特性に配慮して、見やすいカラー化がなされている。
	⑥デジタル化、情報化 等への対応や配慮	<ul> <li>おり、教科書、学習者用デジタル教科書があり、教科書にあるスイッチからQRコンテンツにアクセスすることができる。</li> <li>学習者用デジタル教科書には、文字読み上げ機能や総ルビ変更や分かち書き変更機能がある。また、文字色、大きさ、背景色の変更も可能。</li> <li>デジタル教科書から画像を切り出して、他のアプリケーションに貼り付けたりでき、多様な表現活動が可能。</li> <li>AI 翻訳を使用して、13 か国の言語に対応している。</li> </ul>
その他	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 多くの口絵には、生きがい、スポーツとの関わり方、健康を支える基本的生活習慣、情報機器との関わりなど多岐にわたり、豊かなスポーツライフの実現に向けての情報が示されている。(口絵) イ キャリア教育に対応した内容としては、アスリートや研究者などからのメッセージや活躍が紹介され、多様な立場の人々が社会で活躍していることが理解できるよう工夫されている。(口絵、WEBプラス) ウ 防災教育では犯罪・災害など、備えや身を守る方法、被害を最小限に抑えるための行動などを身につけ日常生活に活かせるよう工夫してある。(P90 92 94 96 103 等)

	教科 保健体育	種目 保健体育	番号 50	略称 大修館	書名 最新	中学校保健体育
--	---------	---------	-------	--------	-------	---------

項目	観点	特徴
内容の扱い 学 習 方 法 (活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫 ②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 「課題をつかむ」では、導入発問を提示している。「きょうの学習」では本時課題を示し、学習への興味関心を高めている。また、学習における専門用語や重要語句がキーワードで示されている。 イ 見出しは「○○は○○である」の形式で、本文理解がしやすいように示されている。 ウ 資料(グラフや表)には、読み取るためのポイントが示されている。 エ 「学習のまとめ」は問いの形式で、意見発表やグループ活動が仕掛けられ、言語活動やグループ活動などの対話する場面が仕掛けてある。(P7、9、11、等) オ 主体的な学びを促す手法で「ほり下げる」を提示して、学習を広げたり深めたりする情報が示されている。(P7、10、19、等) カ 関連情報を調べることのできるQRコードで紹介している。 キ 章末に、まとめとして知識・技能の確認問題や、学び活用の問いがある。また、取り組みの振り返りをするようにしてある。
	<ul><li>④単元の内容・構成、</li><li>系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応</li></ul>	の例が示されている。(P7,11等)  ア 見開き 2ページで1時間で本時の「課題をつかむ」→「身につける・考える」→「まとめる・ふり返る」の学習の流れが示されている。 イ 各学年の学習内容が明確に示され配列してある。体育編、保健編の順で配列されている。 ウ 章はじめに、「小学校で学習したこと」→「この章で学習すること」→「高校で学習すること」と系統的に示されている。
内容の構成配列への配慮と工夫等	⑤配慮を要する児童 生徒、外国人児童生徒 等日本語指導が必要 な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	エ 「リンク」に、本教科書だけでなく他教科の関連についても示されている。 オ 目次から授業時間数を設定すると、保健学習の時間が多くなる。  ア 読みやすいユニバーサルデザイン(UD)フォントを使用し可読性を高めている。 イ どの内容も、位置を固定した定型デザインで統一されている。要素の区切りが罫線で囲むなどのはっきり区別できるレイアウトになっている。 ウ グラフは、色を変えるとともに線種も変え、引き出し線をつけて説明が付記してある。 エ イラスト等は多国籍を意識してあり、性差を強調しないデザインの工夫もされている。
	⑥デジタル化、情報化 等への対応や配慮	<ul><li>ア 指導者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書があり、教科書にあるスイッチから QR コンテンツにアクセスすることができる(動画や資料等全167点)。</li><li>イ 指導者用デジタル教材には板書で活用のできるパワーポイントスライドがある。</li></ul>
その他	⑦今日的な課題への 対応や配慮等	ア 口絵には、国際的なスポーツ大会、自身の成長とスポーツ、共生社会の実現、目指す社会の在り方について紹介してある。(口絵) イ キャリア教育については、学習内容と関連する職業や機関とそこで働く人について紹介している。(P9 17 23 31 等) ウ 防災安全教育に関しては、災害か命を守るための行動の仕方や災害時の情報の活用、地域の防災訓練、犯罪被害の防止のための取り組みなど工夫されている。(口絵 P31 41 101 120 等) エ SDGsについて、口絵で紹介したり、中学生にできることを取り上げたりしている。(口絵 P178~179)

	保健体育	番号	224	略称	学研	書名	中学保健体育

項目	観点	特徴
	①「知識及び技能」を 習得するための工夫	<ul><li>ア 学習課題が「わかる」「考える」と2つ設定され、考え、深め、新たな知につなげる流れが仕掛けてある。また、学習における専門用語や重要語句がキーワードで示されている。</li><li>イ 小見出しごとに「問い」と資料が設定されており、思考・判断・表現を行いやすく示されて、学習課題解決に近づく工夫がされている。</li></ul>
内容の扱い 学習方法 (活動)	②「思考力、判断力、 表現力等」を育成する ための工夫	ウ 「エクササイズ(課題の解決)」や「学びを生かす(学びの活用)」には対話 的な活動が示され課題解決が仕掛けられている。見方・考え方のポイント が示されている。(P21、31等) エ ページ下部の「探求」「リンク」「発展」等で、多様な学びに対応している。
	③「学びに向かう力、 人間性等」の涵養に向 けた工夫	オ 見開きページ下部に「とりくメーター」で、主体的な取り組みの自己評価がメタ認知できるようにしてある。(P17等)カ 「協同」のマークを設け、協同的な学習活動が生じるように配慮されている。(P19等)キ 章末には、探求的な資料が提示され、学習の発展的内容が提示されている。
		また、「章のまとめ」として知識・技能の確認ができる問題がある。さら に、「生活への活用」の問いがあり、日常生活と関連付けが仕掛けてある。
	④単元の内容・構成、 系統性の工夫、カリキ ュラム・マネジメント への対応	<ul> <li>ア 見開き2ページで1時間(本時)の「ウォームアップ(課題の発見)」→「学習解決へ(学習の課題)(エクササイズ)」→「学びを生かす(学びの活用)」の学習の流れが示されている。</li> <li>イ 各学年の学習内容が明確に示され配列してある。体育編、保健編の順で配列されている。</li> </ul>
内容の構成 配列への配 慮と工夫等		ウ 章の扉に、「小学校で学習したこと」「高校で学習すること」が示されており、学習の見通しが立てやすく示されている。(P15、27、43等) エ 「リンク」に、他教科書の関連ページ示してある。
	⑤配慮を要する児童 生徒、外国人児童生徒 等日本語指導が必要 な児童生徒、多様性へ の対応や配慮	<ul> <li>ア 読みやすいユニバーサルデザイン(UD)フォントを使用し可読性を高めている。UD デジタル教科書体を使用している。</li> <li>イ どの内容も位置を固定した定型デザインで統一されている。いつも同じ流れで学習が進められるように、背景色が統一され認識しやすくしてある。ウ グラフは、色を変えるとともに線種も変え、引き出し線をつけて説明が付記してある。</li> </ul>
		エ 「性とどう向き合うか」では、多様な性のあり方に配慮し、「相手」という言葉を用いて記載している。(P52)
	⑥デジタル化、情報化 等への対応や配慮	ア 指導者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書があり、教科書にある スイッチから QR コンテンツにアクセスすることができる。 イ 学習者用デジタル教科書には、文字読み上げ機能や書体、大きさ、背景色 等の変更機能などの学習者支援機能が付いている。
その他	⑦今日的な課題への 対応や配慮等	ア 口絵には、スポーツの力について様々な可能性について、運動・食事・休養 睡眠からの健康課題、安全・防災、環境など、保健体育との関連が示されている。(口絵) イ キャリア教育については口絵や章扉に、健康、環境、安全・防災、運動・スポーツに関わる職業人の話をのせ、将来の社会的職業的自立に目が向くような仕掛けがある。(口絵 P15 107 137 他) ウ 防災教育では、実践的な学習ができるよう予測困難、予測可能に分けた構成になっている。(P80 118~121) エ 保健体育の学びからウェルビーイングの実現に近づけるよう構成されている。(P12 21 64 65 他)

## 道徳

特別の教科道徳	道徳	2	東書	新しい道徳
---------	----	---	----	-------

項目	観点	特徴
学習方法	①自主的・自発的な 学習を促すための工 夫	ア 教科書の最初に、1年間の見通しがもてるように「テーマごとの教材配列」や「道徳科の目的」が示されている。 イ 生徒が話し合う時間を確保するために、1教材あたりの朗読時間を短くしている。 ウ 教科書に自分の考えや思ったことなどを書き込むことができる「つぶやき」欄が設けられている。
内容の構成・配列	②学習内容の構成・ 配列の工夫、カリキ ュラム・マネジメン トへの対応	ア 小学校で学習した教材が掲載されており、小学校での学習を思い出しながら道徳的価値について考えることができる。 イ いじめと生命尊重は、複数教材を組み合わせユニット化され、1つのテーマを集中して扱うことで道徳性を養えるよう配慮されている。 ウ 4人の登場人物が3年間登場する。
	③価値理解・人間理 解・他者理解を深め ていくための工夫	ア デジタル心情円や、巻末の心情円を用いて、自分の 気持ちを表現することができる。 イ 時代を超越して大切な価値観に気づかせる教材が設 定されている(3年 P155)
道徳の目標に関連する工夫	④物事を多面的・多 角的に考えるための 工夫	ア 多様な考えを引き出せる発問が中心発問になっている。 イ 1つの事象について、複数の考え方を知り、意見の 交流を通して価値観にせまる教材が設定されている。 (3年P107)
について	⑤自己の生き方につ いての考えを深める ための工夫	<ul> <li>ア 各教材の「見つめよう」で自己を振り返り、「考えようをぐっと深める」で自己のこれからについて考えるようになっている。</li> <li>イ 学期毎に「自分の学びをふり返ろう」が設けられている。</li> <li>ウ 「Plus」というコラムがあり、学習したことを広げたり、深めたりすることができる。</li> </ul>
その針	⑥特別支援教育への 配慮、表記・表現の 配慮・工夫	ア QR コンテンツとして速度調節機能が付いた朗読機能が用意されている。 イ 映像・イラストなど視覚支援が効果的に配置されている。 ウ 「デジタル教科書」で133言語の翻訳が利用できる。
その他	⑦デジタル化、今日的 な課題への対応や配 慮など	ア SDGsと関連して考えられる教材が掲載してあり、 関連するゴールが示されている。 イ 題材にSNS等を扱った情報モラルについての学習 がある。 ウ いじめ、ジェンダー、多様性、SDGs、情報モラル など、今日的な課題が多く用意されている。

特別の教科道徳 道徳	1 7	教出	中学道徳	とびだそう未来へ
------------	-----	----	------	----------

項目	観点	特徴
学習方法	①自主的・自発的な 学習を促すための工 夫	<ul><li>ア 自分自身に関わるような問いが、各教材のはじめに入れている。</li><li>イ 三つの副教材「やってみよう」で、役割演技や、グループ活動が収録されている。</li><li>ウ 教科書の最初に、1年間の見通しがもてるように「テーマごとの教材配列」や「道徳の学び方」が示されている。</li></ul>
内容の構成・配 列	②学習内容の構成・配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 「いじめ」、「生命の尊重」はユニット構成になっている。 イ 学期ごとに「道徳科の学びを振り返えろう」があり、成長を感じることができる。 ウ 生命の尊さ、いじめ、情報モラル、防災、文化など、幅広い分野の教材が用意されている。
	③価値理解・人間理 解・他者理解を深め ていくための工夫	ア 尊重されるべき「ちがい」、あってよい「ちがい」、 あってはならない「ちがい」について考える教材が収 録されている。(1年p96) イ 時代を超越して大切な価値観に気づかせる教材が設 定されている (3年P155)
道徳の目標に 関連する工夫 について	④物事を多面的・多 角的に考えるための 工夫	ア 自分の体験に対する問いかけから、広く物事を考えられるような「道しるべ」が用意されている。 イ 「自分はどうありたいか」を考える場面が多く設定されている。 ウ 個性について考え、グループで意見を交流する教材が設定されている。(1年p138)
	⑤自己の生き方についての考えを深める ための工夫	<ul><li>ア 学期毎に「道徳科の学びをふり返ろう」が設けられている。</li><li>イ 「1年間の学びをもとに考えよう」で、「幸せ」や「よりよい生き方」について考えることができる。</li></ul>
	⑥特別支援教育への 配慮、表記・表現の 配慮・工夫	ア 教材の最初に QR コードを掲載し、教材の解説を読むことができる。
その他	⑦デジタル化、今日的 な課題への対応や配 慮など	ア 「まなびリンク」で教材解説や補足資料を見ることができる。 イ 巻末に SDG s の目標との関連が示されている。 ウ みんなの考えが共有できるデジタルコンテンツが用意されている。

特別の教科道徳 道徳	3 8	光村	道徳	きみが	いちばん	ひかるとき
------------	-----	----	----	-----	------	-------

項目	観点	特徴
学習方法	①自主的・自発的な学 習を促すための工夫	ア 各学年の第1教材「道徳の学習を始めよう」では、 道徳を学ぶときの大切な三つのポイントを示してある。1年から3年へと少しずつステップアップしており、生徒が自主的に道徳を学ぶ姿勢を整える。 イ 巻末に、日々の学びを記録できる「まなびの記録」が設けてある。 ウ 三学年とも、「友情、信頼」の教材で、自ら問を立てて考える「問いを立てよう」が用意してある。
内容の構成・配列	②学習内容の構成・配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<ul><li>ア 他の教科と、日常生活との関わりが示されている。</li><li>イ テーマごと、ユニットごとに掲載されている。</li><li>ウ 「道徳 道案内」で学習における価値観のつながりが視覚的にわかりやすく掲載されている。</li></ul>
	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	ア 「よりよい学校生活、集団生活の充実」の教材では、 問題を解決するために大切な3ステップを明示し、そ れに沿って道徳的価値に対する考えを深められるよう にしている。 イ 教材の中に書き込み式のワークシートがあり、授業 の中で活用しやすい。
道徳の目標に関連する工夫について	④物事を多面的・多角 的に考えるための工 夫	ア 巻末の「まなびの道具箱」では、問いに対する考えを整理したり、話し合いを活性化したりするのに役立つ思考ツール(イメージマップ、PMIシート、スケールチャート、ピラミッドチャート、ベン図)を紹介している。 イ 話し合いを活発化させるための思考ツールが用意されている。 ウ 同じ教材でも、切り口の違う発問が用意されている。
	⑤自己の生き方につ いての考えを深める ための工夫	ア 二つの問いで構成し、発問の意図を明確にしている。 ①道徳的な問題を明らかにする問い(課題の設定)② 道徳的な価値についての理解や自覚を深める問い(中 心となる発問) イ 「つなげよう」という問いが設定されて、学んだこ とをこれからの人生でどう活かすかを考えやすくなっ ている。
	⑥特別支援教育への 配慮、表記・表現の 配慮・工夫	ア デジタル教科書で、総ルビ・読み上げ機能、リフロー機能、文字や背景の色の変更ができる。 イ 自分の気持ちや考えを言葉で伝えるのが苦手な生徒が感情を表出する手助けとなる「スマイルメーター」がある。(指導者用デジタル教科書)
その他	⑦デジタル化、今日的 な課題への対応や配 慮など	ア いじめ問題についてじっくりと考えることができるように、全学年に、「いじめを許さない心について考える」ユニットが設けられている。 イ 各学年に三教材ずつ「生命の尊さ」の教材が用意されている。 ウ 情報モラル、防災、キャリア教育について教材が用意されている。 エ SDGsと関連の深い教材にタグが付けてある。 オ QRコードで朗読音声や、教材の学習を深める資料が用意されている。

項目	観点	特徴
学習方法	①自主的・自発的な 学習を促すための工 夫	ア 「道徳ノート」に自分の考えをまとめて書くときの 記入欄が足りないときなどに活用できる「自分の+1」 欄が大きく確保されている。 イ 教科書の最初に、「道徳の学び方」が示されている。 ウ 日常の中で起こりがちな事例で考えさせている。
内容の構成・配列	②学習内容の構成・ 配列の工夫、カリキ ュラム・マネジメン トへの対応	ア ユニット「いじめと向き合う」を1年生に3か所6 教材、2・3年生に2か所配置されている。また、ユニットは、いじめ事例を直接的に扱った教材と、間接的に考える教材とで構成されている。イいじめが起こりやすい長期休み明けを狙って「いじめ」の教材を取り扱っている。ウ 自分らしさや希望について考え、地域社会など集団生活に関わる内容について考え、より広い視野で次の学年へつなげる教材という構成になっている。
	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	ア 多様性を尊重し合う社会のために「向上心、個性の伸長」、「相互理解、寛容」を重点化して教材を配置している。 イ 「道徳ノート」に友だちの意見や話し合いの内容をメモすることができる。 ウ 「明日へのメッセージ」で、価値観に共感しやすい内容を掲載している。
道徳の目標に関連する工夫について	④物事を多面的・多 角的に考えるための 工夫	ア 「道具箱」として、フリーワークシート、心情メーター、シンキングツールが用意されている。 イ コラム「視野を広げて」が、各学年7つずつ配置されている。 ウ 役割演技などを求める体験的な学習が用意されている。
	⑤自己の生き方につ いての考えを深める ための工夫	ア 「道徳ノート」が付属としてあり、学びの積み重ね をまとめられ、振り返ることができる。 イ 学期ごとの振り返りページが設定されている。 ウ 実話や生の声を取り上げ、生徒が感情移入しやすい 内容になっている。
	⑥特別支援教育への 配慮、表記・表現の 配慮・工夫	ア 男女偏りなく、性別による服装や職業などの差がないよう留意し、性の多様性に触れている。海外ルーツの生徒やさまざまな身体的特徴の人物が登場する。 イ 「教科書 QR コンテンツ」で、アニメーション、動画、朗読音声、ワークシートなどが利用できる。 ウ 教材の読み上げ、背景色の変更、文字の大きさ変更などに対応している。
その他	⑦デジタル化、今日的 な課題への対応や配 慮など	ア SDG s に関わる教材・コラムを収録し、「自立と共生」、「環境と未来」というテーマで関連する教材・コラムをユニット化し、多面的・多角的に考えられるようにしている。 イ 情報モラル、デジタルシティズンシップにかかわる教材・コラムが全学年に掲載されている。 ウ 多様性の尊重に向けた「向上心、個性の伸長」「相互理解・寛容」を新たに重点化している。

項目	観点	特徴
学習方法	①自主的・自発的な 学習を促すための工 夫	ア QRコードで「学研教科書サイト」にアクセスでき、動画、写真、音声、関連サイト、ワークシート、年表などが利用できる。 イ 「クローズアップ」で関連する情報が掲載されている。 ウ 漫画やありがちな SNS のトラブルなど、生徒の興味を引きそうな題材が多い。
内容の構成・配列	②学習内容の構成・ 配列の工夫、カリキ ュラム・マネジメン トへの対応	ア SDGs、多様性、キャリア教育についてユニット構成にして集中して配置してある。 イ ユニット学習「持続可能な世界のために」「色とりどりに輝く」「未来に向かって」で複数の教材を共通テーマで効果的に配列している。
	③価値理解・人間理 解・他者理解を深め ていくための工夫	ア 「深めよう」のマークのある教材では、見つけよう、考えよう、話し合おう、生き方につなげようの4ステップで考えが深められるようになっている。 イ 実話に基づいて、生徒が共感しやすく心に響く教材を取り入れている。(3年P36、P130、P176)
道徳の目標に 関連する工夫 について	④物事を多面的・多 角的に考えるための 工夫	ア 思考ツールの使い方が示されている。 イ 異なる意見で役割演技をさせる活動を取り入れて多面的・多角的に考えさせている。(3年 P61) ウ 「それぞれの立場に立って」という問いが用意されている。
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	ア 巻末に、学習ごとを振り返る「学びのメモ」、学期ごとの学習を振り返る「学びの記録」、年間の学習を振り返る「未来への扉」が設定されている。 イ 「クローズアップ」で関連する情報と、自分の体験を振り返る問いや、実話をもとに考える時間が用意されている。
その他	⑥特別支援教育への 配慮、表記・表現の 配慮・工夫	ア 性別による服装や職業などの差がないよう留意し、性 の多様性に触れている。 イ 全体的にイラストや漫画を使って視覚的にわかりや すい支援がなされている。(3年 P18、 P82、 P148)
	⑦デジタル化、今日的 な課題への対応や配 慮など	ア SDGs、多様性、キャリア教育についてユニット構成にして集中して配置してある。 イ SNSや情報モラルについて扱った教材を収録している。

特別の教科道徳 道徳	2 3 2	あかつき	中学生の道徳
------------	-------	------	--------

項目	観点	特徴
学習方法	①自主的・自発的な 学習を促すための工 夫	ア QRコードから、教材に関わりのある情報を見ることができる。 イ 教科書の最初に、「道徳科の目的」「価値観とそれを身に付けるため取り組み方」が示されている。 ウ 自分との対話という、自分に関わる問いが用意されている。
内容の構成・配列	②学習内容の構成・ 配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア いじめ、情報モラル、キャリア教育がユニット構成になっている。 イ 教材が「自分を見つめて考える」と「考えを深める」、「自分との対話」の問いで構成されている。 ウ 自然・情報・スポーツなど、広い分野にわたる教材が使用されている。
	③価値理解・人間理 解・他者理解を深め ていくための工夫	ア 実話に基づいて、生徒が共感しやすく心に響く教材を取り入れている。(3年 P46、P60、P146) イ 「他者と意見が異なった時、どうすべきか」という内容の問いが用意されている。
道徳の目標に 関連する工夫 について	④物事を多面的・多 角的に考えるための 工夫	<ul><li>ア 教材を読み、活動を通して、いろいろな視点から考えを深める「マイプラス」が収録されている。</li><li>イ 登場人物の気持ちになって考えることをどの話でも求めている。</li><li>ウ 「考えを深める」という見出しで、他者との意見共有ができる問いが常に用意されている。</li></ul>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	ア 各教材に「自分との対話」の問いが設定されている。 イ 各学期末に「学習の記録」で、年度末に「1年間の学習 の記録」で学習を振り返ることができる。 ウ 教材で学習した内容を深める「Thinking」というコラ ムが収録されている。
その他	⑥特別支援教育への 配慮、表記・表現の 配慮・工夫	ア 性別による服装や職業などの差がないよう留意し、性の多様性に触れている。 イ 全体的にイラストや漫画を効果的に使い、文字が大きく視覚的にわかりやすい支援がなされている。(3年P50、P56、P124) ウ さまざまな障がいがある人と共生する社会のあり方についての内容が用意されている。
	⑦デジタル化、今日的 な課題への対応や配 慮など	ア いじめ、情報モラル、キャリア教育がユニット構成になっている。 イ 「Thinking」に SDG s についてのコラムが収録されている。

特別の教科道徳 道徳	2 3 3	日科	道徳中学校	生き方から学ぶ
------------	-------	----	-------	---------

項目	観点	特徴
学習方法	①自主的・自発的な 学習を促すための工 夫	ア 各教材にメモ欄が設けられている。 イ 「ウェルビーイングカード」が用意されており、友 だちと共有することができる。 ウ 教科書の最初に、「道徳科における学年間のつながり の意図」が示されている。
内容の構成・配 列	②学習内容の構成・ 配列の工夫、カリキ ュラム・マネジメン トへの対応	<ul><li>ア 教材がテーマごとにまとめて収録されている。</li><li>イ 各教材が「考えよう」、「深めよう」の2つの問い、メモ欄で構成されている。</li><li>ウ キャリア、人権、生命・健康、伝統文化など、多様な分野から考えを深められるようになっている。</li></ul>
	③価値理解・人間理 解・他者理解を深め ていくための工夫	ア 「ウェルビーイングカード」が用意されており、友だちと共有することができる。 イ 実話に基づいて、生徒が共感しやすい教材を取り入れている。(3年 P28、P54、P132)
道徳の目標に 関連する工夫 について	④物事を多面的・多 角的に考えるための 工夫	ア 立場が異なる登場人物からの視点を扱う教材が掲載 されている。(1年p65、82)
	⑤自己の生き方についての考えを深める ための工夫	<ul><li>ア 各教材の「深めよう」の問いで、自分自身について 考えることができるようになっている。</li><li>イ 登場人物の立場になって考える問いが用意されている。</li></ul>
7. 10 lib	⑥特別支援教育への 配慮、表記・表現の 配慮・工夫	<ul><li>ア 人権教育、福祉教育、国際理解教育等に対する配慮がなされている。</li><li>イ 漫画を効果的に使い、視覚的にわかりやすい支援がなされている。(3年 P7、P49、P79、P106、P133、P141)</li><li>ウ デジタルコンテンツが用意されている。</li></ul>
その他	⑦デジタル化、今日的 な課題への対応や配 慮など	ア いじめについて立場が異なる登場人物からの視点を 扱っている。 イ 情報モラル、国際、人権、環境など今日的な教材が 収録されている。 ウ QRコードで関連する動画、画像、音声、外部リン クが使用することができる。

#### 特別支援

#### 教科用図書採択資料 (特別支援教育)

#### I 著作本

	発行者	書名	内容の特色等
I	文部科学省	国語☆☆☆☆	・国語☆☆☆☆は、特別支援学校中学部 I ~ 3年生を対象にした教科用図書であり、漢字には読み仮名がついている。カラーの挿し絵と大きな文字で、絵本のような構成になっている。実生活に役立つ内容で、中学校でも教科書として利用できると考える。 ・国語☆☆☆☆は特別支援学校中学部 I ~ 3年生を対象としているが、国語☆☆☆☆よりも文字が小さくなり物語、説明文、俳句、語彙などがレベルアップした内容となっている。「職場体験学習の感想文を書こう」や「お礼の手紙を書こう」、「修学旅行の思い出」など学校行事や実生活に関連した内容が多くあり、中学校知的障がい特別支援学級で取り組みやすい内容である。
2	文部科学省	数学☆☆☆☆ 数学☆☆☆☆☆	・数学☆☆☆☆は特別支援学校中学部を対象にした教科用図書である。さんすう☆☆☆と同じ順番で単元が進んでおり、小学校の復習をしながら学習を進めることができる。単位、計算、図形、時間などが実生活で活用できるような課題で構成されている。 ・数学☆☆☆☆☆は特別支援学校中学部を対象にした教科用図書である。割り算、小数、分数の計算や、グラフを利用した整理の仕方などが加わり、レベルアップ用として活用することができる内容である。
3	文部科学省	音楽☆☆☆☆	・音楽☆☆☆☆、音楽☆☆☆☆☆は特別支援学校中学部を対象にした教科用図書である。 歌、リズム運動、鑑賞、楽器演奏などの内容であり、各ページには挿し絵が豊富で、歌の雰囲気や動きがイメージしやすいように作られている。 ・楽譜ページは教科書後半に別ページでの掲載となっており、必要に応じて活用するものと考えられる。

#### 2 一般図書

1	日本教育研究出版	ひとりだちするため の国語	・コミュニケーション能力の基礎を重視しつつ、会話や読書、作文などに楽しく興味をもてる内容となっている。 ・自立する上で必要な、生活の場で生かせる題材が選ばれている。物語や説明文などの読み物教材は扱われていないので、必要に応じて読解の題材を入れていく必要がある。
2	日本教育研究出版	ひとりだちするため の算数・数学	・特別支援学校中学部や特別支援学級向けの教科書。 基礎的な内容を学び、実生活を身近に想像できるように重さと量、図形、時間、金銭など身の回りのものを用いた内容となっている。イメージしやすいようにイラストを多く取り入れている。 ・小数や分数などは入っていないので、必要に応じて計算問題を入れていく必要がある。
3	東洋館出版社	改訂新版 くらしに役立つ数学	・「基礎編」(数と計算、図形、測定、変化と関係、 データの活用)と「生活編」(自分の身の周りのこと、毎日 の生活、楽しむ(余暇)、生活を豊かに、将来の生活に向け て)で構成されている。 ・二次元コードから気温、求人票などの動画や資料をダウ ンロードできる。 ・ICカードやスマートフォン等の利用をふまえた内容構 成となっている。 ・電卓を使って学習を進めるようになっている。 ・オールカラーの紙面で要点や説明がわかりやすい。
4	文理	わからないをわかる にかえるシリーズ 中学歴史 中学地理 中学公民 中 I ~中3理科 中 I ~中3英語	・オールカラーの紙面で要点や説明がわかりやすく、単元 ごとの重要用語もしぼってあり、学習に取り組みやすい。 ・見開きの左ページのヒントを参考にしながら右ページの 問題を解く構成となっており、取り組みやすい内容である。 ・カードがついており、重要事項を繰り返し確認すること ができる。
5	開隆堂	職業・家庭 たのしい家庭科 わたしのくらしに生 かす	・特別支援学校中学部向け。将来働いて役に立ち、自分らしく生活を楽しめる大人になるために、自立や衣食住の大切さ、将来に向けて3年間で身につけたいことを学習できる内容になっている。 ・洗濯や調理の手順は、絵でわかりやすく示されている。・中学校の自立活動でも活用できる内容が含まれている。
6	開隆堂	職業・家庭 たのしい職業科 わたしのくらしに生 かす	・特別支援学校中学部向け、自立と職業の大切さ、自分の 将来を考えて身につけたいことを学ぶ内容となっている。 ・清掃、園芸、事務などの実際の仕事で活用することので きる学習内容になっている。 ・中学校の自立活動でも活用できる内容が含まれている。